P3NK-1962-01Z0

GeoStream Si-R brinシリーズ

メッセージ集

V1

FUJITSU

はじめに

このたびは、本装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
インターネットやLANをさらに活用するために、本装置をご利用ください。

2006年 7月初版

本ドキュメントには「外国為替及び外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれています。
従って本ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。
Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
All rights reserved, Copyright© 富士通株式会社 2006

本書の構成と使いかた

本書は、本装置のシステムログメッセージについて説明しています。
また、CD-ROMの中のREADMEファイルには大切な情報が記載されていますので、併せてお読みください。

本書の読者と前提知識

本書は、ネットワーク管理を行っている方を対象に記述しています。
本書を利用するにあたって、ネットワークおよびインターネットに関する基本的な知識が必要です。

本書の構成

本書では、システムログメッセージを説明しています。

マークについて

[メッセージ]　メッセージを記載しています。
[プライオリティ]　システムログのレベルを記載しています。
[意味]　各メッセージの意味を記載しています。
[パラメタの意味]　各パラメタの意味を記載しています。

本書における商標の表記について

Microsoft、WindowsおよびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本装置のマニュアルの構成

本装置の取扱説明書は、以下のとおり構成されています。使用する目的に応じて、お使いください。

マニュアル名称	内容
Si-R 効率化運用ツール使用手引書	Si-R 効率化運用ツールを使用する方法を説明しています。
Si-R70brin　ご利用にあたって	Si-R70brin の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R brin シリーズ　機能説明書	本装置の便利な機能について説明しています。
Si-R brin シリーズ　トラブルシューティング	トラブルが起きたときの原因と対処方法を説明しています。
Si-R brin シリーズ　メッセージ集（本書）	システムログ情報などのメッセージの詳細な情報を説明しています。
Si-R brin シリーズ　仕様一覧	本装置のハード／ソフトウェア仕様と MIB/Trap 一覧を説明しています。
Si-R brin シリーズ　コマンドユーザーズガイド	コマンドを使用して、時計などの基本的な設定またはメンテナンスについて説明しています。
Si-R brin シリーズ　コマンド設定事例集	コマンドを使用した、基本的な接続形態または機能の活用方法を説明しています。
Si-R brin シリーズ　コマンドリファレンス	コマンドの項目やパラメタの詳細な情報を説明しています。
Si-R brin シリーズ　Web ユーザーズガイド	Web 画面を使用して、時計などの基本的な設定またはメンテナンスについて説明しています。
Si-R brin シリーズ　Web 設定事例集	Web 画面を使用した、基本的な接続形態または機能の活用方法を説明しています。
Si-R brin シリーズ　Web リファレンス	Web 画面の項目の詳細な情報を説明しています。

目　次

第 1 章　システムログ情報一覧 11
1.1　システムのメッセージ 12
1.1.1　システム起動 12
1.2　ルーティングマネージャのメッセージ 13
1.2.1　ルーティングテーブルオーバーフロー 13
1.2.2　スタティック経路の優先度矛盾 13
1.2.3　スタティック経路の ECMP 数オーバー 14
1.2.4　ECMP 対象となるスタティック経路のメトリック矛盾 14
1.2.5　スタティックエントリ数オーバーフロー 15
1.2.6　経路再登録の中断 15
1.2.7　IP アドレスの割り当て 15
1.2.8　IP アドレスの重複 16
1.3　RIP のメッセージ 17
1.3.1　パケット長異常 17
1.3.2　バージョン異常 17
1.3.3　送信元ポート番号異常 18
1.3.4　送信元 IP アドレス異常 18
1.3.5　アドレスファミリ異常 19
1.3.6　経路情報あて先異常 19
1.3.7　マスク長異常 20
1.3.8　メトリック異常 20
1.3.9　RIP ルーティングテーブルオーバーフロー（RIP パケット受信） 21
1.3.10　RIP ルーティングテーブルオーバーフロー（再配布経路受信） 21
1.3.11　インタフェース経路情報オーバフロー 22
1.4　BGP4 のメッセージ 23
1.4.1　マーカフィールド異常 23
1.4.2　メッセージ長異常 23
1.4.3　メッセージタイプ異常 24
1.4.4　メッセージヘッダ異常サブエラーコード認識不可 24
1.4.5　バージョン異常 25
1.4.6　AS 番号異常 25
1.4.7　BGP-ID 異常 26
1.4.8　サポート外オプション 26
1.4.9　認証異常 27
1.4.10　HOLD 時間受け入れ不可 27
1.4.11　ケイパビリティ受け入れ不可 28
1.4.12　OPEN メッセージ異常サブエラーコード認識不可 28
1.4.13　属性異常 29
1.4.14　サポート外既知属性 29
1.4.15　既知属性の消失 30

1.4.16 属性フラグ異常 . . . 30
1.4.17 属性長異常 . . . 31
1.4.18 ORIGIN 属性異常 . . . 31
1.4.19 メッセージループ . . . 32
1.4.20 NEXT-HOP 属性異常 . . . 32
1.4.21 オプション属性異常 . . . 32
1.4.22 不当経路情報 . . . 33
1.4.23 不当 AS_PATH . . . 33
1.4.24 UPDATE メッセージ異常サブエラーコード 認識不可 . . . 34
1.4.25 HOLD 時間満了 . . . 34
1.4.26 内部状態矛盾 . . . 35
1.4.27 BGP セッション終了 . . . 35
1.4.28 エラーコード 認識不可 . . . 36
1.4.29 設定外装置からの接続受信 . . . 36
1.4.30 BGP ルーティングテーブルオーバーフロー（UPDATE パケット受信） 37
1.4.31 BGP ルーティングテーブルオーバーフロー（再配布経路受信） . . . 37
1.5 OSPFv2 のメッセージ . . . 38
1.5.1 エリア ID 不一致 . . . 38
1.5.2 認証方式不一致 . . . 38
1.5.3 テキスト認証鍵不一致 . . . 39
1.5.4 MD5 認証鍵不一致 . . . 39
1.5.5 ネットワークマスク長不一致 . . . 40
1.5.6 Hello パケット送信間隔の不一致 . . . 40
1.5.7 隣接ルータ停止確認間隔の不一致 . . . 41
1.5.8 エリアタイプの不一致 . . . 41
1.5.9 LSA 最大数オーバ . . . 42
1.5.10 ルータ ID の重複 . . . 42
1.5.11 MTU 値の不一致 . . . 43
1.5.12 SPF 計算テーブル数オーバ . . . 43
1.5.13 OSPF 作業メモリオーバ . . . 44
1.5.14 受信可能サイズを超えたパケットの破棄 . . . 44
1.5.15 隣接関係異常 . . . 44
1.5.16 connected 経路オーバフロー . . . 46
1.6 ルーティングマネージャのメッセージ (IPv6) . . . 47
1.6.1 ルーティングテーブルオーバーフロー . . . 47
1.6.2 IPv6 プレフィックスの割り当て . . . 48
1.6.3 IPv6 プレフィックスの重複 . . . 48
1.6.4 IPv6 スタティック経路の優先度矛盾 . . . 49
1.6.5 IPv6 スタティック経路の ECMP 数オーバー . . . 49
1.6.6 IPv6 スタティックエントリ数オーバーフロー . . . 50
1.6.7 経路再登録の中断 . . . 50
1.7 RIP のメッセージ (IPv6) . . . 51
1.7.1 パケット長異常 . . . 51
1.7.2 バージョン異常 . . . 51
1.7.3 送信元ポート番号異常 . . . 52
1.7.4 送信元 IP アドレス異常 . . . 52
1.7.5 ホップリミット異常 . . . 53
1.7.6 経路情報プレフィックス異常 . . . 53
1.7.7 プレフィックス長異常 . . . 54
1.7.8 メトリック異常 . . . 54

1.7.9　RIP ルーティングテーブルオーバーフロー（REQUEST パケット受信）　55
1.7.10　RIP ルーティングテーブルオーバーフロー (再配布経路受信）　55
1.7.11　インタフェース経路情報オーバフロー　56
1.8　マルチキャストのメッセージ　57
1.9　通信関連のメッセージ　60
1.9.1　LAN キャリア検出　60
1.9.2　LAN キャリア喪失　60
1.9.3　回線接続　60
1.9.4　回線切断　61
1.9.5　自動発呼の抑止中　62
1.9.6　連続接続失敗による発信抑止　62
1.9.7　PPP ネゴシエーション失敗　63
1.9.8　発信失敗　63
1.9.9　回線エラー　64
1.9.10　発信ログ　65
1.9.11　閉塞状態への移行　66
1.9.12　認証メモリ枯渇　67
1.9.13　アカウンティングメモリ枯渇 (アカウンティング開始時)　68
1.9.14　アカウンティングメモリ枯渇 (アカウンティング終了時)　68
1.10　PPPoE のメッセージ　69
1.10.1　PPPoE ディスカバリステージ失敗　69
1.11　セキュリティメッセージ　70
1.11.1　ProxyDNS による DNS 要求破棄　70
1.11.2　ProxyDNS による unicode DNS 要求の破棄　70
1.11.3　IP フィルタによるパケット破棄　71
1.11.4　PPP 着信拒否　71
1.11.5　DHCP サーバのアドレス配布　72
1.11.6　IPv6 フィルタによるパケット破棄　72
1.11.7　NAT によるパケット破棄　73
1.11.8　NAT 変換テーブル作成　74
1.11.9　IPv6 DHCP サーバのプレフィックス配布　74
1.11.10　アプリケーションフィルタによるパケット破棄　75
1.11.11　不正端末アクセスの検出　75
1.12　IDS のメッセージ　77
1.12.1　IDS による異常パケット通知　77
1.13　IPsec / IKE のメッセージ　80
1.13.1　ISAKMP SA ネゴシエーション　80
1.13.2　IPsec SA ネゴシエーション　87
1.13.3　ISAKMP、IPsec 共通　92
1.13.4　IKE セッションの復旧　100
1.13.5　IKE セッションの障害検出　100
1.13.6　動的 VPN のメッセージ　100
1.14　接続先セッション監視のメッセージ　103
1.15　構成定義関連のメッセージ　104
1.15.1　ブリッジ / STP 定義無効　104
1.15.2　lan 自動復旧モード定義無効　106
1.15.3　lan 定義無効　106
1.15.4　接続先定義無効　108
1.15.5　アドレス重複　111
1.15.6　相手ネットワークまたは接続先定義無効　113

1.15.7 NAT 定義無効 . . . 113
1.15.8 IP フィルタ定義無効 . . . 114
1.15.9 TOS/Traffic Class 値書き換え定義無効 . . . 115
1.15.10 UPnP 関連の定義矛盾 . . . 116
1.15.11 IPv6 DHCP 関連の定義矛盾 . . . 116
1.15.12 template 定義無効 . . . 118
1.15.13 動的 VPN サーバ定義無効 . . . 120
1.16 ACL 関連のメッセージ . . . 122
1.16.1 ACL 定義矛盾 (IP を無視) . . . 122
1.16.2 ACL 定義矛盾 (IPv6 を無視) . . . 123
1.16.3 ACL 定義矛盾 (TCP を無視) . . . 123
1.16.4 ACL 定義矛盾 (UDP を無視) . . . 124
1.16.5 ACL 定義矛盾 (ICMP を無視) . . . 124
1.16.6 ACL 定義矛盾 (ACL 定義存在せず) . . . 125
1.16.7 ACL 定義矛盾 (必要な定義が存在しないために無効) . . . 125
1.17 ftpd のメッセージ . . . 127
1.17.1 ログイン成功 . . . 127
1.17.2 ログイン失敗（認証エラー） . . . 127
1.17.3 ファイル蓄積完了 . . . 127
1.17.4 ファイル回収完了 . . . 128
1.17.5 ログイン終了 . . . 128
1.18 admin コマンドのメッセージ . . . 129
1.18.1 admin 成功 . . . 129
1.18.2 admin 失敗（認証エラー） . . . 129
1.18.3 admin 終了 . . . 130
1.19 DHCP クライアントのメッセージ . . . 131
1.19.1 IP アドレス獲得成功 . . . 131
1.19.2 リース更新成功 . . . 131
1.19.3 リース更新失敗 1 . . . 131
1.19.4 リース更新失敗 2 . . . 132
1.19.5 リース期間満了 . . . 132
1.20 IPv6 DHCP クライアントのメッセージ . . . 133
1.20.1 IPv6 プレフィックス獲得成功 . . . 133
1.20.2 リース更新失敗 1 . . . 133
1.20.3 リース更新失敗 2 . . . 133
1.20.4 IPv6 プレフィックス割り当ての設定誤り . . . 134
1.21 ProxyDNS のメッセージ . . . 135
1.21.1 DNS プロキシの問い合わせパケット . . . 135
1.21.2 エラー検知によるパケット破棄 . . . 135
1.22 SNMP のメッセージ . . . 137
1.22.1 不当な SNMP エージェントアドレスの設定 . . . 137
1.22.2 SNMP 認証失敗 . . . 137
1.23 VRRP のメッセージ . . . 138
1.23.1 VRRP グループ開始 . . . 138
1.23.2 マスタルータ／バックアップルータ／イニシャル切り替わり . . . 138
1.23.3 インタフェースアップ／ダウントリガイベント発生 . . . 139
1.23.4 ルートアップ／ダウントリガイベント発生 . . . 139
1.23.5 ノードアップ／ダウントリガイベント発生 . . . 140
1.23.6 マスタルータダウン検出 . . . 141
1.23.7 受信 VRRP-AD TTL 異常 . . . 141

1.23.8　受信 VRRP-AD 認証タイプ異常 142
1.23.9　受信 VRRP-AD 認証パスワード異常 142
1.23.10　VRID 重複設定 143
1.23.11　仮想ルータの IP アドレスインタフェースサブネット外設定 143
1.23.12　仮想ルータの IP アドレスインタフェース同一アドレス設定 144
1.23.13　VRRP 状態変化に対するアクション適用失敗 144
1.24 ブリッジ／ STP のメッセージ 146
1.24.1　構成変更を検出 146
1.24.2　上位ブリッジのダウンを検出 146
1.25 コンソールのメッセージ 147
1.25.1　telnet デーモンのメッセージ 148
1.26 ssh 関連のメッセージ 150
1.26.1　ssh デーモンのメッセージ 150
1.26.2　ssh ログインデーモンのメッセージ 151
1.26.3　sftp デーモンのメッセージ 153
1.27 動的 VPN の情報交換クライアント関連のメッセージ 155
1.27.1　ユーザ ID 登録 155
1.27.2　ユーザ ID 削除 155
1.27.3　情報交換セッション確立 155
1.27.4　情報交換セッション切断 156
1.27.5　情報交換セッションの確立失敗 156
1.27.6　情報交換セッションの満了 157
1.27.7　情報交換セッションの更新失敗 157
1.27.8　情報交換失敗応答受信 158
1.27.9　情報交換セッション開始メッセージの認証失敗 159
1.27.10　情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証失敗 159
1.27.11　動的 VPN サーバアドレスの解決失敗 160
1.27.12　情報交換セッションの開始メッセージをリダイレクトした 160
1.27.13　情報交換セッションの開始を辞退した 161
1.28 動的 VPN サーバ関連のメッセージ 162
1.28.1　ユーザ ID の登録 162
1.28.2　ユーザ ID の削除 162
1.28.3　情報交換セッションの確立 162
1.28.4　情報交換セッションの切断 163
1.28.5　情報交換セッションの満了 163
1.28.6　情報交換セッション開始メッセージの認証失敗 164
1.28.7　情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証失敗 164
1.29 AAA / RADIUS のメッセージ 165
1.29.1　RADIUS アカウンティング情報の表示 165
1.29.2　RADIUS 機能の設定無効 (他 RADIUS サーバ定義) 166
1.29.3　RADIUS 機能の設定無効 (他 RADIUS クライアント定義) 166
1.29.4　RADIUS 認証サーバ未応答 166
1.29.5　RADIUS アカウンティングサーバ未応答 (アカウンティング開始時) . . 167
1.29.6　RADIUS アカウンティングサーバ未応答 (アカウンティング終了時) . . 167
1.29.7　RADIUS 認証同時要求数オーバ 168
1.29.8　RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ (アカウンティング開始時) 168
1.29.9　RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ (アカウンティング終了時) 169
1.29.10　RADIUS 認証構成定義無効 169
1.29.11　RADIUS アカウンティング構成定義無効 (アカウンティング開始時) . . 170
1.29.12　RADIUS アカウンティング構成定義無効 (アカウンティング終了時) . . 170

1.29.13 RADIUS 認証メモリ枯渇 171
1.29.14 RADIUS アカウンティングメモリ枯渇 (アカウンティング開始時) . . . 171
1.29.15 RADIUS アカウンティングメモリ枯渇 (アカウンティング終了時) . . . 172
1.29.16 RADIUS 認証共有鍵不一致 172
1.29.17 RADIUS アカウンティング共有鍵不一致 (アカウンティング開始時) . . 173
1.29.18 RADIUS アカウンティング共有鍵不一致 (アカウンティング終了時) . . 173
1.29.19 ローカル認証 DB アカウンティング情報の表示 174
1.29.20 Access-Challenge の受信 174
1.29.21 Message-Authenticator 不適性 175
1.29.22 アトリビュート作成失敗 (送信バッファオーバフロー) 175
1.29.23 RADIUS 認証取り消し 176
1.29.24 RADIUS 認証サーバダウン 176
1.29.25 RADIUS 認証サーバ復旧 177
1.29.26 RADIUS アカウンティングサーバダウン 177
1.29.27 RADIUS アカウンティングサーバ復旧 178
1.30 その他のメッセージ 179
1.30.1 システムリセットエラー 179
1.30.2 動的定義反映実行 179
1.30.3 重複メッセージの省略 179

第 1 章　システムログ情報一覧

1.1　システムのメッセージ

1.1.1　システム起動

【メッセージ】

```
init: system startup now.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

システムが起動したことを示します。

1.2　ルーティングマネージャのメッセージ

1.2.1　ルーティングテーブルオーバーフロー

【メッセージ】

```
nsm: routing table overflow. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv4 ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>　破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.2.2　スタティック経路の優先度矛盾

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the distance is contradic-
tory. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

優先度が 0 の経路を含んだ重複経路を登録しようとしたため、新たな経路情報を破棄したことを示します。同じあて先に複数の経路を登録する場合、優先度 0 の経路を含むことはできません。

【パラメタの意味】

<route>　破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.2.3 スタティック経路の ECMP 数オーバー

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the num-
ber of ECMP routes has reached maximum. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スタティック経路の追加時に、該当経路の ECMP 数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route> 破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.2.4 ECMP 対象となるスタティック経路のメトリック矛盾

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the metric is contradic-
tory. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メトリックの異なる経路を ECMP 経路として登録しようとしたため、あらたな経路を破棄したことを示します。

同じあて先に複数の経路を ECMP 経路として登録する場合、メトリックが同じである必要があります。

【パラメタの意味】

<route> 破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.2.5　スタティックエントリ数オーバーフロー

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the num-
ber of static routes has reached maximum. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スタティック経路を追加しようとした場合に、スタティック経路のエントリ数が最大値に達していたため破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>　破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.2.6　経路再登録の中断

【メッセージ】

```
nsm: Re-registration processing of the IPv4 route was interrupted.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv4 経路情報の再登録処理を中断しました。

1.2.7　IP アドレスの割り当て

【メッセージ】

```
nsm: <address> was assigned to <interface> from <protocol>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv4 DHCP サーバから獲得した IP アド レスをインタフェースに割り当てたことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

IP アド レス

<interface>

インタフェース名

<protocol>

プロトコル種別

1.2.8 IP アド レスの重複

【メッセージ】

```
nsm: <address> cannot be assigned to <interface> from <protocol>, be-
cause duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv4 DHCP サーバから獲得した IP アド レスが重複しているため、インタフェースに割り当てることができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

IP アド レス

<interface>

インタフェース名

<protocol>

プロトコル種別

1.3　RIP のメッセージ

1.3.1　パケット長異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid packet length(<length>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットのパケット長が異常であることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<length>　RIP パケットのパケット長

1.3.2　バージョン異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid version(<version>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットの RIP バージョンが 0 であることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<version>

RIP パケットの RIP バージョン番号

1.3.3 送信元ポート番号異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source port(<port>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元ポート番号が RIP ポート番号ではないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<port> RIP パケットの送信元ポート番号

1.3.4 送信元 IP アドレス異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元アドレスが本装置のセカンダリアドレスが属しているネットワークであることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

1.3.5　アド レスファミリ異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid address-
family(<family>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のアド レスファミリが AF_INET でないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アド レス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<family>

RIP パケットで受信したアド レスファミリ

1.3.6　経路情報あて先異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid ad-
dress (RTE=<address>/<mask> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のあて先がブロード キャストアド レス、または、ループバックアド レスであることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アド レス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<address>

RIP パケットで受信したあて先アド レス

<mask> RIP パケットで受信したマスク長

<metric> RIP パケットで受信したメトリック

1.3.7 マスク長異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): in-
valid mask (RTE=<address>/<mask> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のあて先が、マスク長の範囲を超えていることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<address>

RIP パケットで受信したあて先アドレス

<mask> RIP パケットで受信したマスク長

<metric> RIP パケットで受信したメトリック

1.3.8 メトリック異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid met-
ric (RTE=<address>/<mask> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のメトリックが 0 である。または、16 よりも大きいことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<address>

RIP パケットで受信したあて先アドレス

<mask>　RIP パケットで受信したマスク長

<metric>　RIP パケットで受信したメトリック

1.3.9　RIP ルーティングテーブルオーバーフロー（RIP パケット受信）

【メッセージ】

```
ripd: RIP routing table overflow. <address>/<mask> from <src-addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たに受信した経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

破棄された経路情報のあて先

<mask>　破棄された経路情報のマスク長

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

1.3.10　RIP ルーティングテーブルオーバーフロー（再配布経路受信）

【メッセージ】

```
ripd: RIP routing table overflow. <address>/<mask> redis-
tribute from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな再配布経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

破棄された経路情報のあて先

<mask> 破棄された経路情報のマスク長

<protocol>

再配布経路のルーティングプロトコル種別

1.3.11 インタフェース経路情報オーバフロー

【メッセージ】

```
ripd: connected route overflow. <address>/<mask>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

再配布されたインタフェース経路情報が上限値に達しているため、新たなインタフェース経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

破棄された経路情報のあて先

<mask> 破棄された経路情報のマスク長

1.4　BGP4 のメッセージ

1.4.1　マーカフィールド 異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 1/1 (Message Header Er-
ror/Connection Not Synchronized.)  <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当なマーカーフィールドを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.2　メッセージ長異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 1/2 (Message Header Error/Bad Mes-
sage Length.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

規定長範囲外のメッセージ長のメッセージを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.3 メッセージタイプ異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 1/3 (Message Header Error/Bad Mes-
sage Type.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポート外のメッセージタイプを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.4 メッセージヘッダ異常サブエラーコード 認識不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 1/<subcode> (Message Header Er-
ror/Unrecognized Error Subcode) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メッセージヘッダ異常 NOTIFICATION を受信し、サブエラーコードを認識できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<subcode>

サブエラーコード

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.5　バージョン異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/1 (OPEN Message Er-
ror/Unsupported Version Number.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポート外の BGP バージョンのメッセージを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.6　AS 番号異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/2 (OPEN Message Er-
ror/Bad Peer AS.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定外の AS 番号または自側と同じ AS 番号を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.7 BGP-ID 異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/3 (OPEN Message Er-
ror/Bad BGP Identifier.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な BGP-ID を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.8 サポート外オプション

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/4 (OPEN Message Er-
ror/Unsupported Optional Parameter.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポート外のオプションを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.9　認証異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/5 (OPEN Message Er-
ror/Authentication Failure.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.10　HOLD 時間受け入れ不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/6 (OPEN Message Er-
ror/Unacceptable Hold Time.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受け入れ不可な HOLD 時間を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.11 ケイパビリティ受け入れ不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/7 (OPEN Message Er-
ror/Unsupported Capability.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受け入れ不可なケイパビリティを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.12 OPEN メッセージ異常サブエラーコード 認識不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 2/<subcode> (OPEN Mes-
sage Header Error/Unrecognized Error Subcode) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

OPEN メッセージ異常 NOTIFICATION を受信し、サブエラーコードを認識できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<subcode>

サブエラーコード

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.13　属性異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/1 (UPDATE Message Er-
ror/Malformed Attribute List)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した属性の処理中に異常が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.14　サポート外既知属性

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/2 (UPDATE Message Er-
ror/Unrecognized Well-known Attribute.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポート外の属性を既知属性として受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.15 既知属性の消失

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/3 (UPDATE Message Er-
ror/Missing Well-known Attribute.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

UPDATE メッセージを受信しましたが、必要な属性がすべてそろいませんでした。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.16 属性フラグ異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/4 (UPDATE Message Er-
ror/Missing Well-known Attribute.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

無効な属性フラグを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.17　属性長異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/5 (UPDATE Message Er-
ror/Attribute Length Error.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の属性長を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.18　ORIGIN 属性異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/6 (UPDATE Message Er-
ror/Invalid ORIGIN Attribute.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の ORIGIN 属性を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.19 メッセージループ

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/7 (UPDATE Message Error/AS Rout-
ing Loop.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手側で経路情報を通知するメッセージが AS 間でループしていることを検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.20 NEXT-HOP 属性異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/8 (UPDATE Message Er-
ror/Invalid NEXT_HOP Attribute.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の NEXT-HOP 属性を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.21 オプション属性異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/9 (UPDATE Message Er-
ror/Optional Attribute Error.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手側で不当なオプション属性を受信し、自側にその異常を通知したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.22　不当経路情報

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/10 (UPDATE Message Er-
ror/Invalid Network Field.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の経路情報を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.23　不当 AS_PATH

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/11 (UPDATE Message Er-
ror/Malformed AS_PATH.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の AS_PATH を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.24 UPDATE メッセージ異常サブエラーコード 認識不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/<subcode> (UPDATE Mes-
sage Header Error/Unrecognized Error Subcode) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

UPDATE メッセージ異常 NOTIFICATION を受信し、サブエラーコードを認識できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<subcode>

サブエラーコード

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.25 HOLD 時間満了

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 4/0 (Hold Timer Expired) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手側との無通信状態がネゴシエーションした結果の HOLD 時間を経過したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.26　内部状態矛盾

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 5/0 (Finite State Machine Er-
ror) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

bgpd 内部の状態に矛盾が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.27　BGP セッション終了

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 6/0 (Cease) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

BGP のセッションを終了したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で BGP のセッションを終了したことを示します。
“ sending ”は自側で BGP のセッションを終了したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.28 エラーコード 認識不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION <code>/<subcode> (Unrecognized Er-
ror Code/Unrecognized Error Subcode) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

NOTIFICATION を受信し、エラーコードを認識できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<code> エラーコード

<subcode>

サブエラーコード

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.29 設定外装置からの接続受信

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP connection IP address is not configured
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定されていない装置から接続要求を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

接続要求を行った装置の IP アドレス

1.4.30　BGP ルーティングテーブルオーバーフロー（UPDATE パケット受信）

【メッセージ】

```
bgpd: BGP routing table overflow. <route> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

BGP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たに受信した経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>　破棄した経路情報

<address>

経路情報を送信した相手装置の IP アドレス

1.4.31　BGP ルーティングテーブルオーバーフロー（再配布経路受信）

【メッセージ】

```
bgpd: BGP routing table overflow. <route> redistribute from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

BGP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな再配布経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>　破棄した経路情報

<protocol>

再配布経路のルーティングプロトコル種別

1.5 OSPFv2 のメッセージ

1.5.1 エリア ID 不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id> in-
valid Area ID <area_id>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されているエリア ID と受信したメッセージに設定されているエリア ID が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router_id>

ルータ ID

<area_id>

受信した OSPF メッセージヘッダに設定されているエリア ID

1.5.2 認証方式不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id> au-
thentication type mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されている認証方式が相手装置と異なっていることを示します。
バーチャルリンクの認証では、インタフェース名として VLINK が表示され、アドレスは表示されません。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router_id>

ルータ ID

1.5.3　テキスト認証鍵不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id> au-
thentication failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されているテキスト認証鍵または MD5 認証鍵 ID が相手装置と異なっていることを示します。

バーチャルリンクの認証では、インタフェース名として VLINK が表示され、アドレスは表示されません。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router_id>

ルータ ID

1.5.4　MD5 認証鍵不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <inter-
face>:<address>: ospf_read from <router_id> md5 authentication failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されている MD5 認証鍵が相手装置と異なっていることを示します。
バーチャルリンクの認証では、インタフェース名として VLINK が表示され、アドレスは表示されません。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router_id>

ルータ ID

1.5.5 ネットワークマスク長不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> NetworkMask mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置でインタフェースに設定されたマスク長が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

1.5.6 Hello パケット送信間隔の不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> HelloInterval mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で Hello パケット送信間隔の設定値が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

1.5.7　隣接ルータ停止確認間隔の不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> RouterDeadInterval mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で隣接ルータ停止確認間隔の設定値が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

1.5.8　エリアタイプの不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> option mismatch: my op-
tions: <my_option>, his options <his_option>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で、エリアタイプの設定値が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

<my_option>

自装置に設定されているエリアタイプを以下に示します。

"**2 transit**"

transit エリア

"**0 stub**"　stub エリア

"**8 nssa**"　準 stub エリア (nssa)

"**nnn unknown**"

上記以外のエリアタイプ

nnn には、エリアタイプを示す値が表示されます。

<his_option>

router_id で示されるルータに設定されているエリアタイプを以下に示します。

"**2 transit**"

transit エリア

"**0 stub**"　stub エリア

"**8 nssa**"　準 stub エリア（nssa）

"**nnn unknown**"

上記以外のエリアタイプ

nnn には、エリアタイプを示す値が表示されます。

1.5.9　LSA 最大数オーバ

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[LS-Upd]: From <router_id> LSDB overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LSDB において、LSA 最大数を超えたことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

LSA 送信元ルータ ID

ルータ ID が自装置ルータ ID の場合、再配布経路を示します。

1.5.10　ルータ ID の重複

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: router-id <router_id> duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置と同じルータ ID を使用する装置を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

1.5.11　MTU 値の不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[DD]: From <router_id> <interface>:<address> MTU mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

隣接ルータのインタフェースに設定されている MTU 値が、自装置よりも大きいことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

隣接ルータ ID

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

1.5.12　SPF 計算テーブル数オーバ

【メッセージ】

```
ospfd: Area ID <area_id>: SPF calculation table overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

SPF 計算テーブル数が許容範囲を超えたことを示します。

【パラメタの意味】

<area_id>

SPF 計算テーブル数が許容範囲を超えたエリア ID

1.5.13 OSPF 作業メモリオーバ

【メッセージ】

```
ospfd: Temporary memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

OSPF ルーティングで使用する作業メモリが許容範囲を超えたために経路情報の一部を破棄したことを示します。

1.5.14 受信可能サイズを超えたパケットの破棄

【メッセージ】

```
ospfd: RECV: packet from <address> ignored. (size too big)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<address> で示すアドレスから、受信可能サイズ以上の IP パケットを受信したため該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

パケットの送信元 IP アドレス

1.5.15 隣接関係異常

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address> : neighbor <router_id> down detec-
tion. (<old_state> -> Down)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

OSPF 隣接ルータ停止確認間隔 (dead interval) の間に Hello パケットを受信できず、隣接ルータとの OSPF 隣接関係が失われたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

自装置のインタフェース名

バーチャルリンク接続では VLINK と表示されます。

<address>

自装置のインタフェースのアドレス

<router_id>

隣接ルータ ID

<old_state>

隣接関係が失われる前の隣接ルータとの状態

Full,Loading,Exchange,ExStart,2-Way のいずれかの状態が表示されます。

1.5.16　connected 経路オーバフロー

【メッセージ】

```
ospfd: connected route overflow. <route>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

再配布された connected 経路数が上限値に達しているため、新たな connected 経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>　破棄した connected 経路情報

1.6　ルーティングマネージャのメッセージ (IPv6)

1.6.1　ルーティングテーブルオーバーフロー

【メッセージ】

```
nsm: IPv6 routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.6.2 IPv6プレフィックスの割り当て

【メッセージ】

```
nsm: <prefix>/<prefixlen> was assigned to <interface> from <protocol>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した IPv6 プレフィックスをインタフェースに割り当てたことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

<interface>

インタフェース名

<protocol>

プロトコル種別

1.6.3 IPv6プレフィックスの重複

【メッセージ】

```
nsm: <prefix/prefixlen> cannot be assigned to <interface> from <proto-
col>, because  duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した IPv6 プレフィックスが重複しているため、インタフェースに割り当てることができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

<interface>

インタフェース名

<protocol>

プロトコル種別

1.6.4　IPv6 スタティック経路の優先度矛盾

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the distance is contradic-
tory. <prefix/prefixlen> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

優先度が 0 の経路を含んだ重複経路を登録しようとしたため、新たな経路情報を破棄したことを示します。同じあて先に複数の経路を登録する場合、優先度 0 の経路を含むことはできません。

【パラメタの意味】

<prefix/prefixlen>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.6.5　IPv6 スタティック経路の ECMP 数オーバー

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the num-
ber of ECMP routes has reached maximum. <pre-
fix_prefixlen> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スタティック経路の追加時に、該当経路の ECMP 数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix/prefixlen>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.6.6 IPv6 スタティックエントリ数オーバーフロー

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the num-
ber of static routes has reached maximum. <pre-
fix/prefixlen> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スタティック経路を追加しようとした場合に、スタティック経路のエントリ数が最大値に達していたため破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix/prefixlen>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.6.7 経路再登録の中断

【メッセージ】

```
nsm: Re-registration processing of the IPv6 route was interrupted.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 経路情報の再登録処理を中断しました。

1.7　RIP のメッセージ (IPv6)

1.7.1　パケット長異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): in-
valid packet length(<length>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットのパケット長が異常であることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<length>　RIP パケットのパケット長

1.7.2　バージョン異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid version(<version>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットの RIP バージョンが 1 でないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<version>

RIP パケットの RIP バージョン番号

1.7.3 送信元ポート番号異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source port(<port>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元ポート番号が RIP ポート番号ではないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<port> RIP パケットの送信元ポート番号

1.7.4 送信元 IP アドレス異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元アドレスがリンクローカルアドレスではないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

1.7.5　ホップリミット異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid hoplimit(<hoplimit>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) のホップリミットが、255 ではないことをを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<hoplimit>

RIP パケットのホップリミット

1.7.6　経路情報プレフィックス異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid pre-
fix (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のプレフィックスがマルチキャストアドレス、またはリンクローカルアドレス、または、ループバックアドレスであることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<prefix>　RIP パケットで受信したプレフィクス

<prefixlen>

RIP パケットで受信したプレフィクス長

<metric>　RIP パケットで受信したメトリック

1.7.7 プレフィックス長異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid pre-
fixlen (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のプレフィックス長が 128 よりも長いことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<prefix> RIP パケットで受信したプレフィクス

<prefixlen>

RIP パケットで受信したプレフィクス長

<metric> RIP パケットで受信したメトリック

1.7.8 メトリック異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid met-
ric (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のメトリックが 0 である。または、16 よりも大きいことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<prefix>　RIP パケットで受信したプレフィクス

<prefixlen>

RIP パケットで受信したプレフィクス長

<metric>　RIP パケットで受信したメトリック

1.7.9　RIP ルーティングテーブルオーバーフロー（REQUEST パケット受信）

【メッセージ】

```
rip6d: RIP routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> from <src-addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たに受信した経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>　破棄された経路情報のプレフィクス

<prefixlen>

破棄された経路情報のプレフィクス長

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

1.7.10　RIP ルーティングテーブルオーバーフロー (再配布経路受信）

【メッセージ】

```
rip6d: RIP routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> redis-
tribute from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな再配布経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix> 破棄された経路情報のプレフィクス

<prefixlen>

破棄された経路情報のプレフィクス長

<protocol>

再配布経路のルーティングプロトコル種別

1.7.11 インタフェース経路情報オーバフロー

【メッセージ】

```
rip6d: connected route overflow. <prefix>/<prefixlen>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

再配布されたインタフェース経路情報数が上限値に達しているため、新たなインタフェース経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix> 破棄された経路情報のプレフィクス

<prefixlen>

破棄された経路情報のプレフィクス長

1.8　マルチキャストのメッセージ

【メッセージ】

```
<name>: <interface> is disable for multicast. (too many interface)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェース数の上限を超えたため、マルチキャストインタフェースとして動作しないことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　動作しているプロトコル

pimdmd　PIM-DM

pimsmd　PIM-SM

mstaticd　マルチキャスト・スタティックルーティング

<interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
<name>: <interface> is disable for multicast. (different protocol)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

他のインタフェースで指定されたマルチキャスト・ルーティングプロトコルと異なるプロトコルが指定されたため、マルチキャストインタフェースとして動作しないことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　動作しているプロトコル

pimdmd　PIM-DM

pimsmd　PIM-SM

mstaticd　マルチキャスト・スタティックルーティング

<interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
<name>: <interface> is disable for multicast. (unnumbered interface)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IP アドレスが設定されていないインタフェースのため、マルチキャストインタフェースとして動作しないことを示します。

【パラメタの意味】

<name> 動作しているプロトコル

pimdmd PIM-DM

pimsmd PIM-SM

mstaticd マルチキャスト・スタティックルーティング

<interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
pimsmd: Invalid Cand-RP address.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate RP に指定した IP アドレスが不正のため、RP として動作しないことを示します。

【メッセージ】

```
pimsmd: Cand-RP address is not local.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate RP に指定した IP アドレスを持つインタフェースが存在しないため、RP として動作しないことを示します。

【メッセージ】

```
pimsmd: Invalid Cand-BSR address.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate BSR に指定した IP アドレスが不正のため、BSR として動作しないことを示します。

【メッセージ】

```
pimsmd: Cand-BSR address is not local.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate BSR に指定した IP アドレスを持つインタフェースが存在しないため、BSR として動作しないことを示します。

【メッセージ】

```
mstaticd: multicast ipv4 static route <count> is unavailable(include in-
valid interface)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

マルチキャスト・スタティックルーティング定義に不正なインタフェースが含まれるため、登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<count>　マルチキャスト・スタティックルーティング定義番号

1.9 通信関連のメッセージ

1.9.1 LAN キャリア検出

【メッセージ】

```
protocol: [mb/<line>] lan port link up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Ethernet 回線について、リンクアップを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<line>　回線番号

1.9.2 LAN キャリア喪失

【メッセージ】

```
protocol: [mb/<line>] lan port link down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Ethernet 回線について、リンクダウンを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<line>　回線番号

1.9.3 回線接続

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] connected to <target>() by <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PPPoE セッションが接続したことを示します。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

<target>　ネットワーク名. 接続先名

<reason>

発信契機

forwarding packet

フォワードパケット

ProxyDNS

ProxyDNS

manual　手動接続

keep connection

回線接続保持機能（常時接続）による接続

1.9.4　回線切断

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] disconnected to <target> : time=<time>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自側より PPPoE セッションを切断したことを示します。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

<target>　ネットワーク名. 接続先名

<time>　接続時間（dddd.hh:mm:ss の形式）

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] disconnected from <target> : time=<time>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手側または網から PPPoE セッションが切断されたことを示します。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

[lan<no>]

<no>：利用した lan 定義番号

<target> ネットワーク名. 接続先名

<time> 接続時間（dddd.hh:mm:ss の形式）

1.9.5 自動発呼の抑止中

【メッセージ】

```
protocol: autodial locked by <name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自動発信が抑止中のため、自動発信処理を中止したことを示します。

【パラメタの意味】

<name> 抑止の原因

schedule スケジュール情報による抑止

1.9.6 連続接続失敗による発信抑止

【メッセージ】

```
protocol: continuous PPP negotiation error <target> : call stop
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

連続して 30 回の接続に失敗し、発信を禁止したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名

1.9.7　PPP ネゴシエーション失敗

【メッセージ】

```
protocol: <protocol> is closed by <target>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<protocol>が相手から終了させられ、そのデータ回線上において<protocol>で示されたプロトコルでの通信が行えなくなったことを示します。

【パラメタの意味】

<protocol>

終了させられたプロトコル

IPCP　IPv4 用のプロトコル名

IPV6CP　IPv6 用のプロトコル名

BCP　ブリッジ用のプロトコル名

<target>　ネットワーク名. 接続先名

1.9.8　発信失敗

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] callout failed (auth rejected)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手より認証で拒絶されたことによる発信失敗を示します。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

[lan<no>]

<no>：利用した lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] callout failed (auth deny)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手を拒絶したことによる発信失敗を示します。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

[lan<no>]

<no>：利用した lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] callout failed (negotiation)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PPP ネゴシエーション失敗による発信失敗を示します。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

[lan<no>]

<no>：利用した lan 定義番号

1.9.9　回線エラー

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <target> is disconnected, because <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PPPoE セッションが切断された理由を示します。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

<target>　ネットワーク名. 接続先名

<reason>

切断理由

no carrier

キャリアロスト検出のため

PADT received

相手から PADT を受信したため

keepalive expired

相手からの受信がまったくなくなったため

1.9.10　発信ログ

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] CALL to <target> by forwarding packet: <proto-
col> <sa>(<sp>)-><da>(<dp>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

パケット送信により発信処理を行ったことを示します（IPv4/IPv6）。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

<target>　ネットワーク名

<protocol>

発信契機となったパケットの上位プロトコル TCP/UDP/ICMP/ICMPV6 の場合は文字列で表示され、それ以外の場合は数値で表示されます。

<sa>　パケットの送信元アドレス

<sp>　パケットの送信元ポート番号（TCP/UDP の場合だけ）

<da>　パケットのあて先アドレス

<dp>　パケットのあて先ポート番号（TCP/UDP の場合だけ）

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] CALL to <target> by <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

上記以外の理由により発信処理を行ったことを示します。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

[lan<no>]

<no>：利用した lan 定義番号

<target> ネットワーク名

<reason>

発信理由

ProxyDNS

発信契機が ProxyDNS であった場合

1.9.11 閉塞状態への移行

【メッセージ】

```
protocol: <name> is force down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

障害検出またはオペレータ指示によって、閉塞状態に移行したことを示します。

【パラメタの意味】

<name> ネットワーク名. 接続先名（WAN 側の場合）
インタフェース名（LAN 側の場合）

1.9.12　認証メモリ枯渇

【メッセージ】

```
protocol: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>: mem-
ory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

接続相手の認証において、メモリ枯渇が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

【メッセージ】

```
protocol: authentication re-
quest failed for <mac_address> on aaa <group_id>: memory alloca-
tion failed. [lan<no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MAC アドレス認証において、メモリ枯渇が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_address>

MAC アドレス認証対象端末の MAC アドレス

<group_id>

AAA グループ ID

<no>　LAN インタフェース番号

1.9.13　アカウンティングメモリ枯渇 (アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
protocol: accounting start re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリが枯渇したことにより、アカウンティング開始を通知できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.9.14　アカウンティングメモリ枯渇 (アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
protocol: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>: mem-
ory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリが枯渇したことにより、アカウンティング終了を通知できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.10　PPPoE のメッセージ

1.10.1　PPPoE ディスカバリステージ失敗

【メッセージ】

```
protocol: [lan<no>] PPPoE Discovery failed to <target> : rea-
son=<reason> state=<state>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PPPoE のディスカバリステージ（PPPoE セッションを確立するためのネゴシエーション）が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名

<reason>

失敗理由

sync failed

同期はずれ

datalink config error

データリンクの設定に誤りがある

wait timeout

期待するパケットを受信できずにタイムアウトした

negotiation error

ネゴシエーションエラー

<state>　PPPoE の内部状態

Initial　初期状態

waitPADO

PADO 受信待ち

waitPADS

PADS 受信待ち

1.11 セキュリティメッセージ

1.11.1 ProxyDNS による DNS 要求破棄

【メッセージ】

```
proxydns: rejected by <no> : QNAME [<type>:<qname>] from <ipaddr>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

ProxyDNS において、破棄指定により破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<no> reject を行った proxydns 命令の転送先定義番号

<type> 問い合わせタイプ

<qname>

問い合わせホスト名

<ipaddr>

発信元ホストの IP アドレス

1.11.2 ProxyDNS による unicode DNS 要求の破棄

【メッセージ】

```
proxydns: rejected by unknown character : QTYPE [<type>] from <ipaddr>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

ProxyDNS において、非表示文字の破棄指定により破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<type> 問い合わせタイプ

<ipaddr>

発信元ホストの IP アドレス

1.11.3　IP フィルタによるパケット破棄

【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(<name>.<no>) : <P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IP フィルタによって、パケットが破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　ネットワーク名（WAN 側の場合）、インタフェース名（LAN 側またはテンプレート着信の場合）

<no>　フィルタリング定義番号

破棄を行った IP フィルタ定義のフィルタリング定義番号が出力されます。どのフィルタリング定義にも該当せず、lan ip filter default、または remote ip filter default、または template ip filter default の定義に従って破棄を行った場合、“ default ”と出力されます。

特殊フィルタルールに適合した場合には、その内容が出力されます。

same address

source / destination ともに同じアドレス

tiny fragment

tiny fragment を検出

overlap fragment

overlap fragment を検出

<P>　プロトコル種別（TCP,UDP,ICMP,IP, その他は番号）

TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S) と出力されます。

<SA>　送信元 IP アドレス

<SP>　送信元ポート番号（プロトコル種別が TCP または UDP の場合）

<DA>　あて先 IP アドレス

<DP>　あて先ポート番号（プロトコル種別が TCP または UDP の場合）

1.11.4　PPP 着信拒否

【メッセージ】

```
protocol: rejected call from <target>(<dial>) by PPP:<reason>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

PPP ネゴシエーション中に着信を拒否したことを示します。

【パラメタの意味】

<target> ネットワーク名. 接続先名

<dial> 接続ダイアル番号

<reason>

認証失敗理由

authentication rejected

認証利用そのものを拒否

wrong account(<id>)

不正認証情報受信（<id>に ID 情報を出力）

1.11.5 DHCP サーバのアド レス配布

【メッセージ】

```
dhcpd: Server allocation <ip_address> to <mac_address>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

DHCP サーバが DHCP クライアントにアド レスを配布したことを示します。

【パラメタの意味】

<ip_address>

DHCP クライアントに配布した IP アド レス

<mac_address>

DHCP クライアントの MAC アド レス

1.11.6 IPv6 フィルタによるパケット破棄

【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(<name>.<no>) : <P> <SA>(<SP>) -> <DA>(<DP>)
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IPv6 フィルタによって、パケットが破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　ネットワーク名（WAN 側の場合）、
インタフェース名（LAN 側またはテンプレート着信の場合）

<no>　フィルタリング定義番号
破棄を行った IPv6 フィルタ定義のフィルタリング定義番号が出力されます。どのフィルタリング定義にも該当せず、lan ip6 filter default、または remote ip6 filter default、または template ip6 filter default の定義に従って破棄を行った場合、“ default ”と出力されます。
特殊フィルタルールに適合した場合には、その内容が出力されます。

same address
source / destination ともに同じアドレス

tiny header
tiny header を検出

tiny fragment
tiny fragment を検出

overlap fragment
overlap fragment を検出

default restrict
デフォルトフィルタに適合

<P>　プロトコル種別（TCP,UDP,ICMPV6, その他は番号）TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S) と出力されます。

<SA>　送信元 IPv6 アドレス

<SP>　送信元ポート番号（プロトコル種別が TCP または UDP の場合）

<DA>　あて先 IPv6 アドレス

<DP>　あて先ポート番号（プロトコル種別が TCP または UDP の場合）

1.11.7　NAT によるパケット破棄

【メッセージ】

```
protocol: rejected at NAT(<name>.<reason>) : <P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

NAT で、変換テーブルがなかったことにより破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name> ネットワーク名

<reason>

破棄理由
特殊フィルタルールに適合した場合には、その内容が出力されます。

tiny fragment

tiny fragment を検出

overlap fragment

overlap fragment を検出

<P> プロトコル種別（TCP,UDP,ICMP,IP, その他は番号）
TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S) と出力されます。

<SA> 送信元 IP アドレス

<SP> 送信元ポート番号（プロトコル種別が TCP または UDP の場合）

<DA> あて先 IP アドレス

<DP> あて先ポート番号（プロトコル種別が TCP または UDP の場合）

1.11.8 NAT 変換テーブル作成

【メッセージ】

```
protocol: NAT:table: <P> <SA> -> <DA>:<DP>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

NAT で、パケット転送に伴い、変換テーブルを作成したことを示します。

【パラメタの意味】

<P> プロトコル種別（TCP,UDP,ICMP,IP, その他は番号）
基本 NAT によるテーブル作成の場合は、ALL と出力されます。

<SA> 送信元 IP アドレス

<DA> あて先 IP アドレス

<DP> あて先ポート番号（プロトコル種別が TCP または UDP の場合）

1.11.9 IPv6 DHCP サーバのプレフィックス配布

【メッセージ】

```
dhcp6sd: Server delegation <prefix>/<prefixlen> to <interface>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IPv6 DHCP サーバが IPv6 DHCP クライアントに IPv6 プレフィックスを配布したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

IPv6 DHCP クライアントに配布した IPv6 プレフィックス

<interface>

インタフェース名

1.11.10　アプリケーションフィルタによるパケット破棄

【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(<name>.<no>) : <SA> -> <DA>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

アプリケーションフィルタによって、パケットが破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　サーバ機能名

<no>　フィルタリング定義番号
破棄を行ったアプリケーションフィルタ定義のフィルタリング定義番号が出力されます。どのフィルタリング定義にも該当せず、デフォルト定義に従って破棄を行った場合、“ default ”と出力されます。

<SA>　送信元アドレス

<DA>　あて先アドレス

1.11.11　不正端末アクセスの検出

【メッセージ】

```
protocol: the unidentified terminal was de-
tected: MAC=<mac_address> [lan<no>]
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

MAC アドレス認証に失敗したことで、不正端末アクセスを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_address>

不正端末の MAC アドレス

<no> 検出した LAN インタフェース番号

1.12　IDS のメッセージ

1.12.1　IDS による異常パケット通知

【メッセージ】

```
protocol: curious packet at ids(<name>.<cause>) : <packet>
protocol: curious packet at ids(<name>.<cause>) :
<counter> times in <time> seconds
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IDS によって、異常パケットが検知されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　相手ネットワーク名 (remote 定義の場合)、またはインタフェース名 (lan または template 定義の場合)

<cause>　検知理由

IP オプションにかかわる異常パケット通知の場合は IP オプション名が出力されます。

1)　IP ヘッダ関連

Unknown IP protocol

protocol フィールドが 134 以上のとき

Land attack

始点 IP アドレスと終点 IP アドレスが同じとき

Short IP header

IP ヘッダの長さが length フィールドの長さよりも短いとき

Malformed IP packet

length フィールドと実際のパケットの長さが違うとき

2)　IP オプションヘッダ関連

Malformed IP option

オプションヘッダの構造が不正であるとき

Security IP option

Security and handling restriction header を受信したとき

Loose routing IP option

Loose source routing header を受信したとき

Record route IP option

Record route header を受信したとき

Stream ID IP option

Stream identifier header を受信したとき

Strict routing IP option

Strict source routing header を受信したとき

Timestamp IP option

Internet timestamp header を受信したとき

3) ICMP 関連

ICMP source quench

source quench を受信したとき

ICMP timestamp request

timestamp request を受信したとき

ICMP timestamp reply

timestamp reply を受信したとき

ICMP information request

information request を受信したとき

ICMP information reply

information reply を受信したとき

ICMP address mask request

address mask request を受信したとき

ICMP address mask reply

address mask reply を受信したとき

5) TCP 関連

TCP no bits set

フラグに何もセットされていないとき

TCP SYN and FIN

SYN と FIN が同時にセットされているとき

TCP FIN and no ACK

ACK のない FIN を受信したとき

6) FTP 関連

FTP improper port

PORT や PASV コマンドで指定されるポート番号が 1024～65535 の範囲でないとき

<packet>

異常パケットの内容

フラグメントにかかわる異常パケット通知のみフラグメントに関する情報が出力されます。

FTP にかかわる異常パケット通知のみ FTP ポート番号に関する情報が出力されます。

ICMP にかかわる異常パケット通知のみ ICMP type と ICMP code に関する情報が出力されます。

異常パケットを大量に検知した場合にはサマリーモードに切替え、パケットの詳細情報は出力しません。

出力形式を以下に示します。

```
<P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP>
<P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP> ftpport:<ftpport>
<P> <SA> -> <DA> fragment offset:<fragment>
<P> <SA> -> <DA> <icmptype>:<icmpcode>
```

<P>　プロトコル種別 (TCP,UDP,ICMP,IP, その他は番号)
TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S) と出力されます。

<SA>　送信元 IP アドレス

<SP>　送信元ポート番号 (プロトコル種別が TCP、または UDP の場合)

<DA>　あて先 IP アドレス

<DP>　あて先ポート番号 (プロトコル種別が TCP、または UDP の場合)

<fragment offset>
フラグメントオフセットの量を示します。

<icmptype>
ICMP type

<icmpcode>
ICMP code

<ftp port>
ftp port 番号

<counter>
検知した回数

<time>　検知した期間

1.13 IPsec/IKE のメッセージ

1.13.1 ISAKMP SA ネゴシエーション

【メッセージ】

```
isakmp: not acceptable <etype> mode
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または受け入れられない交換モードを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、自側の設定により決定した交換モードとは異なるモードを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<etype> 交換モード

サポートされていない交換モード

1 Base

受け入れられない交換モード

※自側の設定により決定した交換モードとは異なるモード

2 Identity Protection

4 Aggressive

【メッセージ】

```
isakmp: invalid encryption algorithm <algorithm>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正な暗号アルゴリズムを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、DES_CBC、3DES_CBC、AES_CBC 以外の暗号アルゴリズムを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<algorithm>

暗号アルゴリズム

サポートされていない暗号アルゴリズム

2　IDEA 暗号アルゴリズム

3　Blowfish 暗号アルゴリズム

4　RC5-R16-B64 暗号アルゴリズム

6　CAST 暗号アルゴリズム

不正な暗号アルゴリズム

1～ 7 以外の不定の値

※以下の暗号アルゴリズムはサポートされているため出力されることはありません。

1　DES CBC 暗号アルゴリズム

5　3DES CBC 暗号アルゴリズム

7　AES-CBC 暗号アルゴリズム

【メッセージ】

```
isakmp: invalid hash algorithm <algorithm>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なハッシュアルゴリズムを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、MD5、SHA 以外のハッシュアルゴリズムを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<algorithm>

ハッシュアルゴリズム

サポートされていないハッシュアルゴリズム

3　Tiger ハッシュアルゴリズム

不正なハッシュアルゴリズム

1 ～ 3 以外の不定の値

※以下のハッシュアルゴリズムはサポートされているため出力されることはありません。

1　MD5 アルゴリズム

2　SHA アルゴリズム

【メッセージ】

```
isakmp: invalid authentication method <method>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、不正な認証方式を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、共有鍵（Pre-shared key）認証以外の認証方式を受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<method>

認証方式

サポートされていない認証方式

2 DSS 署名認証方式

3 RSA 署名認証方式

4 RSA 暗号認証方式

5 改良 RSA 暗号認証方式

不正な認証方式

1 ～ 5 以外の不定の値

※以下の認証方式はサポートされているため出力されることはありません。

1 既知共有鍵認証方式

【メッセージ】

```
isakmp: invalid DH group type <group>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なグループタイプを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、RFC2409 に定義されている中で MODP 以外のグループタイプを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<group>　グループ記述子

サポートされていないグループタイプ

2　　ECP だ円関数グループ

3　　EC2N だ円関数グループ

不正な認証方式

1 ～ 3 以外の不定の値

※以下のグループタイプはサポートされているため出力されることはありません。

1　　MODP 指数関数グループ

【メッセージ】

```
isakmp: ignore the packet, expecting the packet encrypted
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信パケットが暗号化されていることを期待していたが、暗号化されていないため、パケットを破棄したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションで、鍵交換後のパケットは暗号化されることを期待するが、暗号化されていないパケットを受信したときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: Expecting IP address type in main mode, but <type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Main モードで受信した ID ペイロードの IP アドレスタイプが、期待していたタイプでなかったことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションを共有鍵（Pre-shared key）認証で行う場合に、ID ペイロードの交換が IPv4 アドレス、IPv6 アドレス以外で行われたときに出力されます。

【パラメタの意味】

<type>　ID タイプ

サポートされていない ID タイプ

1　　IPv4 アドレス

2　　省略なしドメイン名

3 省略なしユーザ名

4 IPv4 アドレスとネットマスク

5 IPv6 アドレス

6 IPv6 アドレスとネットマスク

7 IPv4 アドレス範囲指定

8 IPv6 アドレス範囲指定

9 証明書対象者の X.501 バイナリ DER エンコーディング

10 証明書対象者の X.509 バイナリ DER エンコーディング

11 独自 ID 情報
不正な ID タイプ
1 ～ 11 以外の不定の値

【メッセージ】

```
isakmp: give up phase1 negotiation. <local> -> <remote>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーションの再送回数が終了したことを示します。このメッセージは、回線異常、相手装置の問題によりネゴシエーションパケットが受信できず、ネゴシエーションが失敗したときに出力されます。または、設定ミスによりネゴシエーションパケットが破棄され、ネゴシエーションが失敗したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<local> IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元 IP アドレスまたは自装置識別情報

<remote>
IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先 IP アドレスまたは相手装置識別情報

【メッセージ】

```
isakmp: phase1 information overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーションにおいて、Phase1 情報が最大数を超えたことを示します。このメッセージは、大規模構成で同時に IPsec / IKE 通信を行い、それぞれの IPsec SA 更新のタイミングが同時期に行われた場合や相手装置の問題によって定義数以上のネゴシエーションが行われた場合に出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid Minor Version.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な Minor Version の値を受信したことを示します。
このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、Minor Version に 0、1 以外の値が設定されたパケットを受信した時に出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid RESERVED field.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な RESERVED フィールドの値を受信したことを示します。
このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、RESERVED フィールドに 0 以外の値が設定されたパケットを受信した時に出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid number of Transform Payload.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な#of Transforms の値を受信したことを示します。
このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、#of Transforms 値に Transform ペイロードの個数と異なる値が設定されたパケットを受信した時に出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid Next Payload type of SA Payload.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な SA ペイロードの次ペイロードタイプの値を受信したことを示します。
このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、SA ペイロードの次ペイロードタイプに Proposal ペイロード (2)、Transform ペイロード (3) の値が設定されたパケットを受信した時に出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid Next Payload type of Transform Payload.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な Transform ペイロードの次ペイロードタイプの値を受信したことを示します。
このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、Transform ペイロードの次ペイロードタイプに次ペイロードなし (0)、Transform ペイロード (3) 以外の値が設定されたパケットを受信した時に出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid Next Payload type of the last Payload.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な最終ペイロードの次ペイロードタイプの値を受信したことを示します。
このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、最終ペイロードの次ペイロードタイプに次ペイロードなし (0) でない値が設定されたパケットを受信した時に出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid Next Payload type <type>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

規定されていない不正な次ペイロードタイプの値を受信したことを示します。
このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、次ペイロードタイプに規定されていない不正な値が設定されたパケットを受信した時に出力されます。

【パラメタの意味】

<type>　不正なペイロードタイプ
0 ～ 13 以外の不定の値

1.13.2　IPsec SA ネゴシエーション

【メッセージ】

```
isakmp: invalid transform id=<id> in <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なトランスフォーム ID を受信したことを示します。このメッセージは IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信したトランスフォームペイロードトランスフォーム ID が未サポート、または不正な認証または暗号アルゴリズムの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<id>　トランスフォーム ID（認証／暗号アルゴリズム）
protocol が ISAKMP の時
不正なトランスフォーム ID
1 以外の不定の値
※以下のトランスフォーム ID はサポートされているため出力されることはありません。

1　IKE

protocol が AH の時
サポートされていないトランスフォーム ID

3　DES 認証アルゴリズム

不正なトランスフォーム ID
1 ～ 3 以外の不定の値
※以下のトランスフォーム ID はサポートされているため出力されることはありません。

2 MD5 認証アルゴリズム

3 SHA 認証アルゴリズム

protocol が ESP の時
サポートされていないトランスフォーム ID

1 DES IV64 暗号アルゴリズム

4 RC5 暗号アルゴリズム

5 IDEA 暗号アルゴリズム

6 CAST 暗号アルゴリズム

7 Blowfish 暗号アルゴリズム

8 トリプル IDEA 暗号アルゴリズム

9 DES IV32 暗号アルゴリズム

10 RC4 暗号アルゴリズム

不正なトランスフォーム ID
1 ～ 12 以外の不定の値
※以下のトランスフォーム ID はサポートされているため出力されることはありません。

2 DES 暗号アルゴリズム

3 3DES 暗号アルゴリズム

12 AES 暗号アルゴリズム

<protocol>

プロトコル

1 ISAKMP プロトコル

2 認証プロトコル

3 暗号プロトコル

【メッセージ】

```
isakmp: invalid encryption mode=<mode>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なカプセルモードを受信したことを示します。このメッセージは IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、トンネルモード以外のカプセルモードを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<mode>　カプセルモード

サポートされていないカプセルモード

2　　トランスポートモード

不正なカプセルモード

1、2 以外の不定の値

※以下のカプセルモードはサポートされているため出力されることはありません。

2　　トンネルモード

【メッセージ】

```
isakmp: invalid authentication algorithm=<algorithm>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正な認証アルゴリズムを受信したことを示します。このメッセージは IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、HMAC-MD5,HMAC-SHA1 以外の認証アルゴリズムを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<algorithm>

認証アルゴリズム

サポートされていない認証アルゴリズム

3　　DES MAC 認証アルゴリズム

4　　KPDK 認証アルゴリズム

不正な認証アルゴリズム

1 ～ 4 以外の不定の値

※以下の認証アルゴリズムはサポートされているため出力されることはありません。

1　　HMAC MD5 認証アルゴリズム

2　　HMAC SHA 認証アルゴリズム

【メッセージ】

```
isakmp: give up phase2 negotiation. <src_addr> -> <dst_addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA のネゴシエーションの再送回数が終了したことを示します。このメッセージは、回線異常や相手装置の問題によりネゴシエーションパケットが受信できなかった場合や設定ミスによりパケットが破棄されたことによって、ネゴシエーションが失敗した場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<src_addr>

IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元 IP アドレス

<dst_addr>

IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先 IP アドレス

【メッセージ】

```
isakmp: phase2 information overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA のネゴシエーションにおいて、Phase2 情報が最大数を超えたことを示します。このメッセージは、大規模構成で同時に IPsec / IKE 通信を行い、それぞれの IPsec SA 更新のタイミングが同時期に行われた場合や相手装置の問題により定義数以上のネゴシエーションが行われた場合に出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA protocol id mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA のネゴシエーションプロトコルが、受信した IPsec SA のネゴシエーションと一致しなかったことを示します。IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンダによって出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA encryption algorithm mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の暗号アルゴリズムが、受信した IPsec SA の暗号アルゴリズムと一致しなかったことを示します。IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンダによって出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA encryption algorithm key length mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の暗号アルゴリズムの鍵長が、受信した IPsec SA の暗号アルゴリズムの鍵長と一致しなかったことを示します。
IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンダによって出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA authentication algorithm mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の認証アルゴリズムが、受信した IPsec SA の認証アルゴリズムと一致しなかったことを示します。IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンダによって出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA pfs group mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の PFS 使用時の DH グループが、受信した IPsec SA の DH グループと一致しなかったことを示します。IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンダによって出力されます。

1.13.3 ISAKMP、IPsec 共通

【メッセージ】

```
isakmp: invalid value of DOI 0x<doi>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な DOI の値を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信した SA ペイロードの DOI が IPsec DOI 以外の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<doi> DOI
00000001 以外の不定の値

【メッセージ】

```
isakmp: invalid situation 0x<situation>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正な Situation の値を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信した SA ペイロードの Situation が SIT_IDENTITY_ONLY 以外の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<situation>

situation
サポートされていない Situation

00000002 ネゴシエーション中の SA が、ラベル付けされたセキュリティが必要な環境にあることを示します。

00000004 ネゴシエーション中の SA が、ラベルが付いたインテグリティを必要とする環境にあることを示します。

不正な situation
00000001、00000002、00000004 以外の不定の値
※以下の Situation はサポートされているため出力されることはありません。

00000001 発信元 ID 情報によって SA を確認することを指定します。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid protocol id <id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なプロトコル ID の値を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信したプロポーザルペイロードのプロトコル ID が ISAKMP、AH、ESP 以外の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<id>　プロトコル ID
サポートされていないプロトコル ID
4　圧縮プロトコル
不正なプロトコル ID
1 ～ 4 以外の不定の値
※以下のプロトコル ID はサポートされているため出力されることはありません。
1　ISAKMP プロトコル
2　IPsec 認証プロトコル
3　IPsec 暗号プロトコル

【メッセージ】

```
isakmp: invalid life type <type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な Life タイプを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、RFC2409 に定義されていない Life タイプを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<type>　Life タイプ
不正なプロトコル ID
1、2 以外の不定の値
※以下の Life タイプはサポートされているため出力されることはありません。
1　単位秒
2　単位キロバイト

【メッセージ】

```
isakmp: invalid attribute type <type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正な属性タイプを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、サポートされていないまたは RFC2409 に定義されていない属性タイプを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<type> 属性タイプ

ISAKMP SA ネゴシエーションの時サポートされていない属性タイプ

- **8** グループ生成 2 属性タイプ
- **9** グループ曲線 A 属性タイプ
- **10** グループ曲線 B 属性タイプ
- **15** フィールド長属性タイプ
- **16** グループ順属性タイプ

不正な属性タイプ

1 ～ 15 以外の不定の値

※以下の属性タイプはサポートされているため出力されることはありません。

- **1** 暗号アルゴリズム
- **2** ハッシュアルゴリズム
- **3** 認証方式
- **4** グループ記述子
- **5** グループタイプ
- **6** グループ素数／規約多項式
- **7** グループ生成 1
- **11** Life タイプ
- **12** Life 継続期限
- **13** prf
- **14** 鍵長

IPsec SA ネゴシエーションの時

サポートされていない属性タイプ

- **7** 鍵ラウンド属性タイプ
- **8** 圧縮辞書サイズ属性タイプ
- **9** 圧縮プライベート

アルゴリズム
不正な属性タイプ
1 ～ 9 以外の不定の値
※以下の属性タイプはサポートされているため出力されることはありません。

1　Life タイプ
2　Life 継続期限
3　グループ記述子
4　カプセルモード
5　認証アルゴリズム
6　鍵長

【メッセージ】

```
isakmp: invalid group description=<group>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なグループ記述子を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、サポートされていないまたは RFC2409 に定義されていないグループ記述子を受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<group>　グループ記述子
サポートされていないグループ記述子

3　EC2N[2^155] だ円関数グループ
4　EC2N[2^185] だ円関数グループ

不正なグループ記述子
1 ～ 5 以外の不定の値
※以下のグループ記述子はサポートされているため出力されることはありません。

1　768 ビット MODP グループ
2　1024 ビット MODP グループ
5　1536 ビット MODP グループ

【メッセージ】

```
isakmp: ignore the packet, received unexpecting payload type <group>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

期待していないペイロードタイプを受信したため、そのパケットを破棄したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションで、受信したパケットに期待していないペイロードが含まれていたときに出力されます。

【パラメタの意味】

<group> ペイロードタイプ

0	none ペイロード
1	SA ペイロードタイプ
2	プロポーザルペイロードタイプ
3	トランスフォームペイロードタイプ
4	鍵交換ペイロードタイプ
5	ID ペイロードタイプ
6	証明書ペイロードタイプ
7	証明書要求ペイロードタイプ
8	ハッシュペイロードタイプ
9	署名ペイロードタイプ
10	Nonce ペイロードタイプ
11	通知ペイロードタイプ
12	削除ペイロードタイプ
13	ベンダ ID ペイロードタイプ

不正なペイロードタイプ
0 ～ 13 以外の不定の値

【メッセージ】

```
isakmp: received invalid next payload type <receive_type>, expect-
ing <expect_type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

期待していたペイロードタイプとは異なるペイロードが次ペイロードに指定されていたことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションで、自身が受けるパケット構成とは異なる構成のパケットを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<receive_type>

受信した次ペイロードタイプ

0	none ペイロード
1	SA ペイロードタイプ
2	プロポーザルペイロードタイプ
3	トランスフォームペイロードタイプ
4	鍵交換ペイロードタイプ
5	ID ペイロードタイプ
6	証明書ペイロードタイプ
7	証明書要求ペイロードタイプ
8	ハッシュペイロードタイプ
9	署名ペイロードタイプ
10	Nonce ペイロードタイプ
11	通知ペイロードタイプ
12	削除ペイロードタイプ
13	ベンダ ID ペイロードタイプ

不正なペイロードタイプ
0 ～ 13 以外の不定の値

<expect_type>

期待していたペイロードタイプ

1	SA ペイロードタイプ
8	ハッシュペイロードタイプ

【メッセージ】

```
isakmp: HASH mismatched side=<side> exchange type=<type> status=<status>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信したハッシュ値と受信パケットから生成したハッシュ値が一致しないことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション中に、イニシエータまたはレスポンダによって出力されます。イニシエータまたはレスポンダから受信したパケットがデータの破壊や改竄などにより、正常なパケットと判断できなかったことを示します。また、Aggressive 交換では、共有鍵が一致しない場合も出力されます。

【パラメタの意味】

<side> 自側の状態

0 イニシエータ側

1 レスポンダ側

<type> ISAKMP 交換の種類

2 Identity Protection 交換

4 Aggressive 交換

32 Quick 交換

<status> ISAKMP 交換での状態

Identity Protection 交換イニシエータのとき

7 3rd メッセージ受信時

Identity Protection 交換レスポンダのとき

5 3rd メッセージ受信時

Aggressive 交換イニシエータのとき

3 1st メッセージ受信時

Aggressive 交換レスポンダのとき

3 2nd メッセージ受信時

Quick 交換イニシエータのとき

5 1st メッセージ受信時

Quick 交換レスポンダのとき

1 1st メッセージ受信時

5 2nd メッセージ受信時

【メッセージ】

```
isakmp: psk mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーションで共有鍵が一致していない可能性があることを示します。共有鍵が一致していない可能性があるときにレスポンダにより出力されます。

【メッセージ】

```
protocol: weak key not usable for des-cbc encryption.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の des-cbc 暗号鍵に RFC2409 の Appendix A に記述されている weak key を設定したことを示します。des-cbc 暗号鍵に RFC2409 の Appendix A に記述されている鍵が設定され、IPsec SA の作成を行わなかったときに出力されます。

【メッセージ】

```
protocol: weak key not usable for 3des-cbc encryption.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の 3des-cbc 暗号鍵に RFC2409 の Appendix A に記述されている weak key を設定したことを示します。3des-cbc 暗号鍵設定時に暗号鍵を 8 バイトごとの 3 つの鍵に分割した際、3 つの鍵のどれかに RFC2409 の Appendix A に記述されている鍵が設定され、IPsec SA の作成を行わなかったときに出力されます。

【メッセージ】

```
protocol: IPsec extension-range reached maximum.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN または Radius で追加する拡張 IPsec 対象範囲情報が最大値に達したため、IPsec SA が作成できなかったことを示します。

また、動的 VPN または Radius を併用して定義追加を行った場合に定義反映時に拡張 IPsec 対象範囲情報が最大値に達したため作成できなかったことを示します。

拡張 IPsec 対象範囲定義数を見直してください。

1.13.4 IKE セッションの復旧

【メッセージ】

```
icmpwatchd: IKE session watching host is up. [<target>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE セッションの監視ホスト、または接続回線が復旧したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名

1.13.5 IKE セッションの障害検出

【メッセージ】

```
icmpwatchd: IKE session watching host is down. [<target>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE セッションの監視ホスト、または接続回線に障害が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名

1.13.6 動的 VPN のメッセージ

【メッセージ】

```
isakmp: The IKE negotiation demand from <user_id> has not received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<user_id>からの IKE ネゴシエーション要求が受信できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

動的 VPN 情報交換を承諾したユーザ ID

【メッセージ】

```
isakmp: duplicate route: <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN 接続で IKE ネゴシエーションを行うために追加した経路よりも優先度が高い同じ経路が既に設定されていたことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

追加した経路情報

【メッセージ】

```
protocol: <user_id> was discon-
nected. [tmp<template>.rmt<remote> (<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<user_id>を切断したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

動的 VPN 情報交換を承諾したユーザ ID

<template>

テンプレート定義番号

<remote>

相手定義番号

<reason>

切断理由

idle timer expired

無通信監視時間満了による切断

manual　手動切断

cannot add route(<route>)

経路追加失敗 (追加できなかった経路)

【メッセージ】

```
isakmp: invalid psk was received. <user_id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な IKE 共有鍵を受信したことを示します。

このメッセージは、動的 VPN 機能で配布された IKE 共有鍵が本装置のサポート範囲を超えた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user_id>

動的 VPN 情報交換中のユーザ ID

【メッセージ】

```
isakmp: psk was not received. <user_id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE 共有鍵が動的 VPN 機能で配布されないことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

動的 VPN 情報交換中のユーザ ID

1.14　接続先セッション監視のメッセージ

【メッセージ】

```
icmpwatchd: ap watching host is down. [<target>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

接続先セッション監視の監視ホスト、または接続回線に障害が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名 (接続先が相手情報設定の場合)
テンプレート名. 接続先識別子 (接続先がテンプレート情報設定の場合)

【メッセージ】

```
icmpwatchd: ap watching host is up. [<target>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

接続先セッション監視の監視ホスト、または接続回線の障害が復旧したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名 (接続先が相手情報設定の場合)
テンプレート名. 接続先識別子 (接続先がテンプレート情報設定の場合)

1.15　構成定義関連のメッセージ

1.15.1　ブリッジ/STP 定義無効

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> bridge is not attached: cannot use bridge on vlan
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

vlan インタフェースでブリッジを定義したため、この lan でブリッジを無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> bridge is not attached: this lan is bound by vlan.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

vlan でバインド されたインタフェースでブリッジを定義したため、この lan でブリッジを無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> bridge is not attached: two or more lan inter-
faces are included in the same group in IP bridge mode.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IP をブリッジする設定で複数の lan インタフェースを同じグループに含めたため、この lan でブリッジを無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: <interface> STP is disable :STP cannot be used except group 0.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ブリッジグループ 0 以外のインタフェースで STP を定義したため、このインタフェースで STP を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
protocol: <interface> STP is disable:STP can-
not be used on vlan interface.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

vlan インタフェースで STP を定義したため、このインタフェースで STP を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

1.15.2 lan 自動復旧モード 定義無効

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> recovery is not available: cannot define recov-
ery mode on vlan
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

vlan インタフェースで recovery を定義したため、この lan で自動復旧モード の設定を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<no> lan 定義番号

1.15.3 lan 定義無効

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: no line
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

利用できる Ethernet 回線がないため、この lan 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no> lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: this line is already bound
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

lan bind 命令で指定された物理回線が、別の lan 定義によって、すでに使用されているために、この lan 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: no line to bind from vlan
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどれかの理由により、この lan 定義が利用できないことを示します。

- vlan インタフェースであり、vlan bind 命令で指定された物理回線が存在しない。
- vlan インタフェースであり、vlan bind 命令で指定された物理回線が Ethernet ではない。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: cannot bind vlan to vlan
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下の理由により、この lan 定義が利用できないことを示します。

- vlan インタフェースであり、vlan bind 命令で指定した先が vlan インタフェースである。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: dupli-
cate vid and bind with lan <other_no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下の理由により、この lan 定義が利用できないことを示します。

- 同じ物理インタフェースを使用する複数の vlan インタフェースで、同じ VLAN ID が定義されている。

【パラメタの意味】

<no> lan 定義番号

<other_no>

lan 定義番号

1.15.4 接続先定義無効

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: no line
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

remote ap datalink bind 命令で指定された lan 定義が存在しないために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: illegal tunnel end-
point address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

tunnel endpoint address の設定が正しくないため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>　接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: remote <re-
mote> ap <ap> has same tunnel endpoint address as re-
mote <other_remote> ap <other_ap>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

tunnel endpoint address が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>　接続先定義番号

<other_remote>

相手定義番号

<other_ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: remote <re-
mote> ap <ap> has same IPsec Tunnel-address as re-
mote <other_remote> ap <other_ap>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec 通信用として定義した IPsec トンネルアドレスが、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

<other_remote>

相手定義番号

<other_ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: lack of configura-
tion for IPsec
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec 通信に必要な情報の設定が欠けているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: remote <re-
mote> is only usable for IPsec
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

この remote 定義が IPsec 通信用として利用されているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: remote <remote> is du-
plicate IPsec definition
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

この相手定義（remote 定義）内に IPsec 通信用の定義が重複しているために、この接続先定義（ap 定義）が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>　接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: remote <re-
mote> ap <ap> is overflow IPsec definition
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec 通信用の定義が最大 IPsec 定義数を超えているめに、この接続先定義（ap 定義）が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>　接続先定義番号

1.15.5　アド レス重複

【メッセージ】

```
enabled: lan <no> has same network/address as lan <other_no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<no>と<other_no> の LAN の IP ネットワーク、または IP アドレスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<no> lan 定義番号

<other_no>

lan 定義番号

【メッセージ】

```
enabled: remote <no> has same remote address as remote <other_no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<no>と<other_no> の相手情報のリモート IP アドレスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<no> 相手定義番号

<other_no>

相手定義番号

【メッセージ】

```
enabled: remote <no> has same remote address as loopback
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

loopback に設定されたアドレスと、<no>の相手情報のリモート IP アドレスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<no> 相手定義番号

【メッセージ】

```
enabled: <interface> has same ip6 prefix as <other_interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface>と<other_interface>の IPv6 プレフィックスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<other_interface>

インタフェース名

1.15.6　相手ネットワークまたは接続先定義無効

【メッセージ】

```
init: remote/ap number is out of range.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手定義番号または接続先定義番号が指定範囲を超えているか、接続先定義が本装置全体の定義可能数を超えているため、範囲外の相手定義／接続先定義は無効であることを示します。

本メッセージは本装置の起動／再起動時に出力されます。また、構成定義関連のエラー詳細はコンソールに出力されます。

1.15.7　NAT 定義無効

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> NAT is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

NAT 初期化時にメモリ枯渇になって NAT の初期化が成功せず、NAT でパケットのアドレス変換がなされない状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no> lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> NAT is unused: lack of memory. Initial-
ization failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

NAT 初期化時にメモリ枯渇になって NAT の初期化が成功せず、NAT でパケットのアドレス変換がなされない状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

1.15.8 IP フィルタ定義無効

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip filter is unused: lack of memory. Initializa-
tion failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

IP フィルタ初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功せず、IP フィルタが無効な状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no> rmt インタフェース番号

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip6 filter is unused: lack of memory. Initializa-
tion failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

IPv6 フィルタ初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功せず、IPv6 フィルタが無効な状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no>　　rmt インタフェース番号

1.15.9　TOS/Traffic Class 値書き換え定義無効

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip tos is unused: lack of memory. Initializa-
tion failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

TOS 値書き換え初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功せず、TOS 値書き換えが無効な状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no>　　rmt インタフェース番号

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip6 trafficclass is unused: lack of memory. Initializa-
tion failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

IPv6 Traffic Class 値書き換え初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功せず、IPv6 Traffic Class 値書き換えが無効な状態になったことを示します。
メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no> rmt インタフェース番号

1.15.10 UPnP 関連の定義矛盾

【メッセージ】

```
ssdpd: no UPnP external interface.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VoIP NAT トラバーサル機能で使用する外部インタフェースがありません。UPnP は動作しますが、定義にエラーがあることが通知されます。NAT を使用する lan 定義または remote 定義がない場合に出力されます。

【メッセージ】

```
ssdpd: no UPnP internal interface. UPnP is not available.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VoIP NAT トラバーサル機能で使用する内部インタフェースがありません。UPnP は動作しません。NAT を使用しない lan 定義がない場合に出力されます。

1.15.11 IPv6 DHCP 関連の定義矛盾

【メッセージ】

```
dhcp6cd: remote <no> is not initialized, because there is no op-
tion to request.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバに要求するオプションがないため、IPv6 DHCP クライアントを利用しないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　相手定義番号

【メッセージ】

```
dhcp6cd: remote <no> is not initialized, because maximum of number is al-
ready started.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP クライアントが利用できる総数にすでに達しているため、利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　相手定義番号

【メッセージ】

```
dhcp6sd: remote <no> is not initialized, because there is no informa-
tion to distribute.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP クライアントに配布する情報がないため、利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　相手定義番号

1.15.12 template 定義無効

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available :no pooled interface .
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

テンプレート着信に使用するインタフェース定義がないため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available :pooled interface is al-
ready configured on remote.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

テンプレート用に予約したインタフェースに該当する remote 定義が既に設定されているため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: unsup-
ported datalink type by the combined function.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

template combine use 命令で指定された機能ではサポートしていない回線種別のため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: template <tem-
plate> has same IPsec Tunnel-address as template <other_template>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec 通信用として定義した IPsec トンネルアドレスが異なるテンプレート定義で既に設定されているため，このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

<other_template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or in-
valid configuration
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定不足，または設定不正のために template 定義が利用できないことを示します.

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: address fam-
ily of server address and ua definition is contradictory.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバとクライアントのアドレスファミリが矛盾していることを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: address fam-
ily of global and a tunnel local definition is contradictory.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VPN 通信の終端グローバルアドレスと自側エンドポイントのアドレスファミリが矛盾していることを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

1.15.13 動的 VPN サーバ定義無効

【メッセージ】

```
protocol: address family is contradic-
tory. dvpn server <count> is disregarded.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバのアド レスファミリが矛盾しているため、動的 VPN サーバ定義番号に示される動的 VPN サーバ定義を無視したことを示します。

【パラメタの意味】

<count>　動的 VPN サーバ定義番号

1.16 ACL 関連のメッセージ

本章に記載されている<config>(ACL 参照定義) に表示される定義内容を以下に示します。

<config> IP フィルタ定義

- lan <number> ip filter <count>
- lan <number> ip6 filter <count>
- remote <number> ip filter <count>
- remote <number> ip6 filter <count>
- template <number> ip filter <count>
- template <number> ip6 filter <count>

TOS / Traffic Class 書き換え定義

- lan <number> ip tos <count>
- lan <number> ip6 trafficclass <count>
- remote <number> ip tos <count>
- remote <number> ip6 trafficclass <count>
- template <number> ip tos <count>
- template <number> ip6 trafficclass <count>

帯域制御 (WFQ) 定義

- lan <number> ip priority <count>
- lan <number> ip6 priority <count>
- remote <number> ip priority <count>
- remote <number> ip6 priority <count>
- template <number> ip priority <count>
- template <number> ip6 priority <count>

動的 VPN 定義

- remote <number> ip dvpn <count>
- remote <number> ip6 dvpn <count>

<number>
lan、remote、または template 定義番号

<count> 各定義における優先順位

1.16.1 ACL 定義矛盾 (IP を無視)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> ip is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、IP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>　ACL 参照定義

<acl_count>

ACL 定義番号

1.16.2　ACL 定義矛盾 (IPv6 を無視)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> ip6 is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、IPv6 に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>　ACL 参照定義

<acl_count>

ACL 定義番号

1.16.3　ACL 定義矛盾 (TCP を無視)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> tcp is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、TCP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config> ACL 参照定義

<acl_count>

ACL 定義番号

1.16.4 ACL 定義矛盾 (UDP を無視)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> udp is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、UDP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config> ACL 参照定義

<acl_count>

ACL 定義番号

1.16.5 ACL 定義矛盾 (ICMP を無視)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> icmp is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、ICMP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>　ACL 参照定義

<acl_count>

ACL 定義番号

1.16.6　ACL 定義矛盾 (ACL 定義存在せず)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> doesn't exist
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義が存在しないため、<config>で示す定義が無効であることを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>　ACL 参照定義

<acl_count>

存在しない ACL 定義番号

1.16.7　ACL 定義矛盾 (必要な定義が存在しないために無効)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義において必要な定義がないため、<config>で示す定義が無効であることを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config> ACL 参照定義

<acl_count>

無効として扱う ACL 定義番号

1.17　ftpd のメッセージ

1.17.1　ログイン成功

【メッセージ】

```
ftpd: login <user> on ftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

1.17.2　ログイン失敗（認証エラー）

【メッセージ】

```
ftpd: failed login <user> on ftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp でユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

1.17.3　ファイル蓄積完了

【メッセージ】

```
ftpd: <filename> Write complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル蓄積（クライアントからの put）により ROM が上書きされたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>

上書きされたファイル名

1.17.4 ファイル回収完了

【メッセージ】

```
ftpd: <filename> Read complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル回収（クライアントからの get）により ROM が読み出されたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>

読み出されたファイル名

1.17.5 ログイン終了

【メッセージ】

```
ftpd: exit <user> on ftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp でのログインを終了した場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user> ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

1.18　admin コマンドのメッセージ

1.18.1　admin 成功

【メッセージ】

```
<name>: admin: authentication succeeded
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

admin コマンドでパスワード認証に成功し、正常に管理者クラスに移行できた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name>　admin コマンドを実行したプログラム

telexec　telnet で admin コマンドを実行した

sshexec　ssh で admin コマンドを実行した

cmdexec　コンソールで admin コマンドを実行した

1.18.2　admin 失敗（認証エラー）

【メッセージ】

```
<name>: admin: authentication failed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

admin コマンドでパスワードが違うために管理者クラスに移行できなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name>　admin コマンドを実行したプログラム

telexec　telnet で admin コマンドを実行した

sshexec　ssh で admin コマンドを実行した

cmdexec　コンソールで admin コマンドを実行した

1.18.3　admin 終了

【メッセージ】

```
<name>: admin: exit
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

admin コマンドで管理者クラスに移行していた状態から一般ユーザクラスに復帰した場合に表示されます。

【パラメタの意味】

<name>　admin コマンドを実行したプログラム

telexec　telnet で admin コマンドを実行した

sshexec　ssh で admin コマンドを実行した

cmdexec　コンソールで admin コマンドを実行した

1.19　DHCP クライアントのメッセージ

1.19.1　IP アドレス獲得成功

【メッセージ】

```
dhcpd: Client received DHCPACK [<IP address>] [lan<no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

DHCP サーバから DHCPACK を受信し、正常に IP アドレスを受け取ったことを示します。

【パラメタの意味】

<IP address>

DHCP サーバから割り当てられた IP アドレス

<no>　受信 LAN 定義番号

1.19.2　リース更新成功

【メッセージ】

```
dhcpd: DHCPACK contains different 'your' IP address. reconfig-
ure to new address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リース更新で DHCP サーバから DHCPACK を受信したが、現在使用中の IP アドレスと異なるアドレスが割り当てられたため新しいアドレスに再構成し直します。

1.19.3　リース更新失敗 1

【メッセージ】

```
dhcpd: Received DHCPNAK(RENEWING). lan<no> go to INIT state
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リース更新中（RENEWING 状態）に DHCP サーバから DHCPNAK を受信したため、INIT 状態に遷移し LAN インタフェースを再初期化します。

【パラメタの意味】

<no>　受信 LAN 定義番号

1.19.4　リース更新失敗 2

【メッセージ】

```
dhcpd: Received DHCPNAK(REBINDING). lan<no> go to INIT state
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リース更新中（REBINDING 状態）に DHCP サーバから DHCPNAK を受信したため、INIT 状態に遷移し LAN インタフェースを再初期化します。

【パラメタの意味】

<no>　受信 LAN 定義番号

1.19.5　リース期間満了

【メッセージ】

```
dhcpc: The lease time expired. [lan<no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リース期間が満了したことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　受信 LAN 定義番号

1.20　IPv6 DHCP クライアントのメッセージ

1.20.1　IPv6 プレフィックス獲得成功

【メッセージ】

```
dhcp6cd: Received Reply <prefix>/<prefixlen> <interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから Reply を受信し、正常に IPv6 プレフィックスを受け取ったことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

IPv6 DHCP サーバから割り当てられた IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

<interface>

インタフェース名

1.20.2　リース更新失敗 1

【メッセージ】

```
dhcp6cd: Renewing failure. <interface> go to REBIND state
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した情報のリース更新 (RENEW) に失敗したため、REBIND 状態に遷移します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

1.20.3　リース更新失敗 2

【メッセージ】

```
dhcp6cd: Rebinding failure. <interface> go to INIT state
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した情報のリース更新 (REBIND) に失敗したため、INIT 状態に遷移します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

1.20.4 IPv6 プレフィックス割り当ての設定誤り

【メッセージ】

```
dhcp6cd: Configuration error for IPv6 prefix assignment. <interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 プレフィックスを割り当てのための設定に誤りがあることを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

1.21　ProxyDNS のメッセージ

1.21.1　DNS プロキシの問い合わせパケット

【メッセージ】

```
proxydns: QNAME [<type>:<qname>] from <ipaddr> to <remote>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

発信契機となった DNS の問い合わせパケットの内容を示します。

【パラメタの意味】

<type>　問い合わせタイプ

<type>	番号	説明
“ A ”	1	host address
“ NS ”	2	authoritative server
“ CNAME ”	5	canonical name
“ SOA ”	6	start of authority zone
“ MB ”	7	mailbox domain name
“ MG ”	8	mail group member
“ MR ”	9	mail rename name
“ NULL ”	10	null resource record
“ WKS ”	11	well known service
“ PTR ”	12	domain name pointer
“ HINFO ”	13	host information
“ MINFO ”	14	mailbox information
“ MX ”	15	mail routing information
“ TXT ”	16	text strings
“ AAAA ”	28	IP6 Address
“ SRV ”	33	Server Selection
“ ANY ”	255	wildcard match
“ Type[番号] ”		上記以外

<qname>

問い合わせホスト名

<ipaddr>

発信元ホストの IP アドレス

<remote>

問い合わせ先ネットワーク名

1.21.2　エラー検知によるパケット破棄

【メッセージ】

```
proxydns: ERROR: record type <type>, class <class>, from <ad-
dress> QNAME [<name>]
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

不正と思われる type や class を持つ DNS 要求を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<type> DNS 要求パケットの Type の値

<class> DNS 要求パケットの Class の値

<address>

DNS 要求発行元の IP アドレス

<name> DNS 要求を行った名前

1.22　SNMP のメッセージ

1.22.1　不当な SNMP エージェント アド レスの設定

【メッセージ】

```
snmpd: illegal SNMP agent address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置の IP アド レスとして割り当てられていない IP アド レスが SNMP エージェントアド レスとして定義されています。そのため、SNMP エージェントおよび TRAP 機能では、自装置の IP アド レスを使用します。SNMP マネージャとは正常に通信できない場合があります。

1.22.2　SNMP 認証失敗

【メッセージ】

```
snmpd: authentication failed. from <address> [<community>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

アクセス許可のない SNMP ホスト、または誤ったコミュニティ名でのアクセスがあったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

SNMP 認証失敗の原因となった IP アド レス

<community>

SNMP 認証に使用されたコミュニティ名

1.23 VRRP のメッセージ

1.23.1 VRRP グループ開始

【メッセージ】

```
nsm: vrrp group is started. <interface> vrid<vrid> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP グループが動作を開始したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid> 本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

1.23.2 マスタルータ／バックアップルータ／イニシャル切り替わり

【メッセージ】

```
nsm: vrrp state is changed into the <state> state. <inter-
face> vrid<vrid> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP 状態が<state> で示された状態に変更されたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid> 本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

<state> 変更後の状態

master　マスタルータ

backup　バックアップルータ

Initialize　イニシャル

1.23.3　インタフェースアップ／ダウントリガイベント発生

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <interface> vrid<vrid> [<ad-
dress>] No.<trigger_no> interface <target_if>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface>、<vrid> および<trigger_no> が示す番号で定義されたインタフェーストリガが発生し、状態が<state> になったことを示します。

【パラメタの意味】

<state>　変更後の状態

up　トリガに設定されたインタフェースがアップし、トリガが不適用になりました。

down　トリガに設定されたインタフェースがダウンし、トリガが適用されました。

<interface>

インタフェース名

<vrid>　本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

<trigger_no>

トリガ定義番号

<target_if>

トリガの対象となるインタフェース名

1.23.4　ルートアップ／ダウントリガイベント発生

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <interface> vrid<vrid> [<ad-
dress>] No.<trigger_no> route <target_route> <target_if>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> と<trigger_no> が示す番号で定義されたルートトリガが発生し、状態が<state> になったことを示します。

【パラメタの意味】

<state> 変更後の状態

up トリガに設定された経路が復旧し、トリガが不適用になりました。

down トリガに設定された経路が損失し、トリガが適用されました。

<interface>

インタフェース名

<vrid> 本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

<trigger_no>

トリガ定義番号

<target_route>

トリガの対象となる経路

<target_if>

トリガの対象となる経路のパケット送出インタフェース名

1.23.5 ノードアップ／ダウントリガイベント発生

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <interface> vrid<vrid> [<ad-
dress>] No.<trigger_no> node <target_node> <target_if>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> と<trigger_no> が示す番号で定義されたノードトリガが発生し、トリガの状態が <state> になったことを示します。

【パラメタの意味】

<state> 変更後の状態

up トリガに設定されたノードがアップし、トリガが不適用になりました。

down トリガに設定されたノードがダウンし、トリガが適用されました。

<interface>

インタフェース名

<vrid>　本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

<trigger_no>

トリガ定義番号

<target_node>

トリガの対象となるノードの IPv4 アドレス

<target_if>

トリガに設定された ICMP ECHO パケット送出インタフェース名

1.23.6　マスタルータダウン検出

【メッセージ】

```
nsm: vrrp master router down detection. <interface> vrid<vrid> [<ad-
dress>] #<code>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP グループのマスタルータのダウンを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid>　ダウンしたマスタルータの VRID

<address>

異常を検出したマスタルータの実 IP アドレス
（XXX.XXX.XXX.XXX）

<code>　検出した異常の種類

01　マスタルータ放棄
（優先度 0 の VRRP-AD 受信）

02　VRRP-AD 受信タイムアウト

1.23.7　受信 VRRP-AD TTL 異常

【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet include invalid TTL. from <interface> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> が示すインタフェースに TTL が 255 でない VRRP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス
（XXX.XXX.XXX.XXX）

1.23.8 受信 VRRP-AD 認証タイプ異常

【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet authentication method mismatched. from <inter-
face> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> が示すインタフェースに認証方法の一致しない VRRP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス
（XXX.XXX.XXX.XXX）

1.23.9 受信 VRRP-AD 認証パスワード 異常

【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet authentication data check failed. from <inter-
face> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> が示すインタフェースに認証パスワードの一致しない VRRP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス
（XXX.XXX.XXX.XXX）

1.23.10　VRID 重複設定

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <interface> vrid<vrid> [<address>] is not initial-
ized. this vrid is already used
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VRID がすでに装置内で有効となっているため、この VRRP グループが利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid>　無効となった VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

1.23.11　仮想ルータの IP アドレスインタフェースサブネット外設定

【メッセージ】

```
nsm: vrrp virtual router IP address out of interface subnet. <inter-
face> vrid<vrid> <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

この VRRP グループの仮想ルータの IP アドレスが、インタフェースのサブネット外であることを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid> 無効となった VRID

<address>

サブネット外である仮想ルータの IP アドレス

1.23.12 仮想ルータの IP アドレスインタフェース同一アドレス設定

【メッセージ】

```
nsm: vrrp same invalid virtual router IP address as real IP ad-
dress was set as backup. <interface> vrid<vrid> <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップ設定である VRRP グループの仮想ルータの IP アドレスが、インタフェースの実 IP アドレスと同じであるため、この VRRP グループが利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid> 無効となった VRID

<address>

実インタフェースと同じである仮想ルータの IP アドレス

1.23.13 VRRP 状態変化に対するアクション適用失敗

【メッセージ】

```
nsm: vrrp action <mode> failed. <interface> vrid<vrid> [<ad-
dress>] No.<action_no> <state> <action> <target> : <msg>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> と<action_no> が示す番号で定義された VRRP 状態変化に対するアクションの適用に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<mode>　アクション適用 / 非適用

On　アクション適用動作を示します。

Off　アクション非適用動作を示します。

<interface>

インタフェース名

<vrid>　本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

<action_no>

アクション定義番号

<state>　アクションを適用する状態

<action>　適用するアクション

<target>　アクションの対象

lan [<lan_number>]

lan を示します。

remote [<remote_number> [ap <ap_number> [id <id> <password>]]]

相手ネットワークや接続先を示します。

access-point <ap_name>

接続先を示します。

template interface <interface_name>

template 接続を示します。

template <template_number> [uid <user_id>]

template 接続を示します。

<msg>　<action>が失敗した理由

1.24 ブリッジ／ STP のメッセージ

1.24.1 構成変更を検出

【メッセージ】

```
protocol: Topology changed [<root>:<priority>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ブリッジネットワークの構成の変化を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<root> ルートブリッジの MAC アドレス

<priority>

ルートブリッジの優先度

1.24.2 上位ブリッジのダウンを検出

【メッセージ】

```
protocol: STP aging timer expired [<root>:<interface>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置の上位のブリッジ装置から定期的に送信される構成情報 BPDU が規定時間内に受信できないことにより上位ブリッジ装置のダウンを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<root> ルートブリッジの MAC アドレス

<interface>

ダウンを検出したブリッジ装置が接続されるインタフェース名

1.25　コンソールのメッセージ

【メッセージ】

```
logon: login <user> on console
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールで正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

【メッセージ】

```
logon: failed login <user> on console
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールでパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

【メッセージ】

```
logon: exit <user> on console
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールで exit した場合に出力されます。consoleinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

1.25.1 telnet デーモンのメッセージ

【メッセージ】

```
telnetd: login <user> on telnet from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user> ログインユーザ名

<address>

telnet 接続元アドレス

【メッセージ】

```
telnetd: failed login <user> on telnet from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet でパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user> ログインユーザ名

<address>

telnet 接続元アドレス

【メッセージ】

```
telnetd: exit <user> on telnet from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet で exit した場合に出力されます。telnetinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

<address>

telnet 接続元アドレス

1.26　ssh 関連のメッセージ

1.26.1　ssh デーモンのメッセージ

【メッセージ】

```
sshd: generating public/private host key pair.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

本装置の ssh ホスト認証鍵の生成を開始した場合に出力されます。

【メッセージ】

```
sshd: generated public/private host key pair.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

本装置の ssh ホスト認証鍵の生成を完了した場合に出力されます。
本メッセージ出力後に ssh 接続できるようになります。

【メッセージ】

```
sshd: failed login <user> on ssh/sftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ssh あるいは sftp でパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

1.26.2　ssh ログインデーモンのメッセージ

【メッセージ】

```
sshlogin: login <user> on ssh from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ssh で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

【メッセージ】

```
sshlogin: failed login <user> on ssh from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ssh でユーザ名が違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

【メッセージ】

```
sshlogin: exit <user> on ssh from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ssh で exit した場合に出力されます。telnetinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user> ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

1.26.3　sftp デーモンのメッセージ

【メッセージ】

```
sftpd: login <user> on sftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

【メッセージ】

```
sftpd: failed login <user> on sftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp でユーザ名が違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

【メッセージ】

```
sftpd: <filename> Write complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル蓄積（クライアントからの put）により ROM が上書きされたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>

上書きされたファイル名

【メッセージ】

```
sftpd: <filename> Read complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル回収（クライアントからの get）により ROM が読み出されたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>

読み出されたファイル名

【メッセージ】

```
sftpd: exit <user> on sftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp でのログインを終了した場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user> ログインユーザ名

<address>

クライアントの IP アドレス

1.27　動的 VPN の情報交換クライアント 関連のメッセージ

1.27.1　ユーザ ID 登録

【メッセージ】

```
infoexcd: <user_id> registered to <server>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバにユーザ ID が登録できたことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

登録したユーザ ID

<server>　登録した動的 VPN サーバアドレス

1.27.2　ユーザ ID 削除

【メッセージ】

```
infoexcd: <user_id> deleted from <server>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバからユーザ ID を削除したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

削除したユーザ ID

<server>　削除した動的 VPN サーバアドレス

1.27.3　情報交換セッション確立

【メッセージ】

```
infoexcd: The session of <from> to <to> was established.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションを確立したことを示します。

【パラメタの意味】

<from> 情報交換の発側ユーザ ID

<to> 情報交換の着側ユーザ ID

1.27.4 情報交換セッション切断

【メッセージ】

```
infoexcd: The session of <from> to <to> was disconnected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションを切断したことを示します。

【パラメタの意味】

<from> 情報交換の発側ユーザ ID

<to> 情報交換の着側ユーザ ID

1.27.5 情報交換セッションの確立失敗

【メッセージ】

```
infoexcd: The session from <from> to <to> failed : <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションの確立に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>　情報交換の発側ユーザ ID

<to>　情報交換の着側ユーザ ID

<reason>

タイムアウト

timeout

セッション数オーバーフロー

session overflow

同じセッションが既に存在する

busy

情報交換バージョン不一致

version

交換情報のエンコードタイプが一致していません。

一時的な失敗

temporary

1.27.6　情報交換セッションの満了

【メッセージ】

```
infoexcd: The session from <from> to <to> expired.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションの有効期限が満了したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>　情報交換の発側ユーザ ID

<to>　情報交換の着側ユーザ ID

1.27.7　情報交換セッションの更新失敗

【メッセージ】

```
infoexcd: Refreshing the session from <from> to <to> failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションの更新に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<from> 情報交換の発側ユーザ ID

<to> 情報交換の着側ユーザ ID

1.27.8 情報交換失敗応答受信

【メッセージ】

```
infoexcd: The response of the failure to <method> was re-
ceived from <from> : <response_code>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換リクエストに対して失敗応答を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<method>

失敗した要求種別

REGISTER

ユーザ ID 登録要求

INVITE 情報交換セッション確立要求

CANCEL

情報交換セッション確立中止要求

BYE 情報交換セッション切断要求

<from>

失敗応答の送信元ユーザ ID、または動的 VPN サーバの IP アドレス

<response_code>

失敗理由を示す応答コードとメッセージ

400 Bad Request

不正なリクエスト

404 Not Found

ユーザ ID が存在しない場合など

408 Request Timeout

リクエストがタイマアウトした

422 Session Interval Too Small

セッション間隔が短すぎる

481 Call/Transaction Does Not Exist

情報交換セッションが存在しない

486 Busy Here

情報交換セッション数オーバーや同一の情報交換セッションが既に確立されている場合など

487 Request Terminated

情報交換セッションの確立を中止した

500 Server Internal Error

情報交換セッション数オーバーなどのサーバ内部エラー

503 Service Unavailable

動的 VPN サーバが利用できない

603 Decline

template 着信で使用する rmt インタフェースの空きがない場合など

1.27.9　情報交換セッション開始メッセージの認証失敗

【メッセージ】

```
infoexcd: The Authentication of INVITE mes-
sage from <from> to <to> failed on <server>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバで情報交換セッション開始メッセージの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>　情報交換の発側ユーザ ID

<to>　情報交換の着側ユーザ ID

<server>　認証に失敗した動的 VPN サーバアド レス

1.27.10　情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証失敗

【メッセージ】

```
infoexcd: The Authentication of REGISTER mes-
sage for <user_id> failed on <server>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバで情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

登録要求したユーザ ID

<server> 認証に失敗した動的 VPN サーバアド レス

1.27.11 動的 VPN サーバアド レスの解決失敗

【メッセージ】

```
infoexcd: Resolving of <fqdn> failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバのホスト名解決に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<fqdn> 動的 VPN サーバのホスト名

1.27.12 情報交換セッションの開始メッセージをリダイレクト した

【メッセージ】

```
infoexcd: The INVITE message from <from> to <to> was redirected to <uri>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションの開始メッセージをリダ イレクト したことを示します。

【パラメタの意味】

<from> 情報交換の発側ユーザ ID

<to> 情報交換の着側ユーザ ID

<uri> リダイレクト先 URI

1.27.13　情報交換セッションの開始を辞退した

【メッセージ】

```
infoexcd: The INVITE message from <from> to <to> was declined: <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

着側で情報交換セッションの開始を辞退したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>　情報交換の発側ユーザ ID

<to>　情報交換の着側ユーザ ID

<reason>

情報交換バージョン不一致

version

交換情報のエンコードタイプが一致していません。

1.28 動的 VPN サーバ関連のメッセージ

1.28.1 ユーザ ID の登録

【メッセージ】

```
dvpnsd: <user_id> was registered by <client>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ユーザ ID を登録したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

登録したユーザ ID

<client> 情報交換クライアントの IP アドレス

1.28.2 ユーザ ID の削除

【メッセージ】

```
dvpnsd: <user_id> was deleted by <client>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ユーザ ID を削除したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

削除したユーザ ID

<client> 情報交換クライアントの IP アドレス

1.28.3 情報交換セッションの確立

【メッセージ】

```
dvpnsd: The session from <from> to <to> was established.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションが確立したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>　情報交換の発側ユーザ ID

<to>　情報交換の着側ユーザ ID

1.28.4　情報交換セッションの切断

【メッセージ】

```
dvpnsd: The session from <from> to <to> was disconnected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションが切断されたことを示します。

【パラメタの意味】

<from>　情報交換の発側ユーザ ID

<to>　情報交換の着側ユーザ ID

1.28.5　情報交換セッションの満了

【メッセージ】

```
dvpnsd: The session from <from> to <to> expired.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションの有効期限が満了したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>　情報交換の発側ユーザ ID

<to>　情報交換の着側ユーザ ID

1.28.6　情報交換セッション開始メッセージの認証失敗

【メッセージ】

```
dvpnsd: The Authentication of INVITE mes-
sage from <from> to <to> by <client> failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換クライアントからの情報交換セッション開始メッセージの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>　情報交換の発側ユーザ ID

<to>　情報交換の着側ユーザ ID

<client>　情報交換クライアントの IP アドレス

1.28.7　情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証失敗

【メッセージ】

```
dvpnsd: The Authentication of REGISTER mes-
sage for <user_id> by <client> failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換クライアントからの情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

登録要求されたユーザ ID

<client>　情報交換クライアントの IP アドレス

1.29　AAA/RADIUS のメッセージ

1.29.1　RADIUS アカウンティング情報の表示

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: <id>(<session_id>) received service for
<session_time> seconds, received <input_packets>
packets(<input_bytes> bytes), sent <output_packets>
packets(<out_bytes> bytes).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS アカウンティング情報を示します。

【パラメタの意味】

<id>　User_Name
アクセスユーザ名

<session_id>
Acct-Session-Id
同一セッションを示す一意の識別子

<session_time>
Acct-Session-Time
セッション開始から終了までの時間

<input_packets>
Acct-Input-Packets
RADIUS クライアントがアクセスユーザから受信したパケット数

<input_bytes>
Acct-Input-Octets
RADIUS クライアントがアクセスユーザから受信したデータ量

<output_packets>
Acct-Output-Packets
RADIUS クライアントからアクセスユーザに対して送信したパケット数

<output_bytes>
Acct-Output-Octets
RADIUS クライアントからアクセスユーザに対して送信したデータ量

1.29.2 RADIUS 機能の設定無効 (他 RADIUS サーバ定義)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: aaa <group_id> radius service is not available: an-
other aaa group is already configured as the radius server.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

他の AAA グループにおいて、RADIUS サーバとして使用することが設定されているため、指定された AAA グループの RADIUS 機能が無効となることを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.3 RADIUS 機能の設定無効 (他 RADIUS クライアント 定義)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: aaa <group_id> radius service is not available: an-
other aaa group is already configured as the radius client.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

他の AAA グループにおいて、RADIUS クライアントとして使用することが設定されているため、指定された AAA グループの RADIUS 機能が無効となることを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.4 RADIUS 認証サーバ未応答

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: no response received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS サーバから認証結果が通知されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.5　RADIUS アカウンティングサーバ未応答 (アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: no response received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS アカウンティングサーバからアカウンティング開始の通知がされなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.6　RADIUS アカウンティングサーバ未応答 (アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: no response received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS アカウンティングサーバからアカウンティング終了の通知がされなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id> アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.7 RADIUS 認証同時要求数オーバ

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: request too much.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、同時要求数が RADIUS プロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

【パラメタの意味】

<id> アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.8 RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ (アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: request too much.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、同時要求数が RADIUS プロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.9　RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ (アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: request too much.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、同時要求数が RADIUS プロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.10　RADIUS 認証構成定義無効

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: invalid configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.11 RADIUS アカウンティング構成定義無効 (アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: invalid configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id> アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.12 RADIUS アカウンティング構成定義無効 (アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: invalid configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id> アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.13　RADIUS 認証メモリ枯渇

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、メモリが枯渇したため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.14　RADIUS アカウンティングメモリ枯渇 (アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、メモリが枯渇したため要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.15　RADIUS アカウンティングメモリ枯渇 (アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、メモリが枯渇したため要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.16　RADIUS 認証共有鍵不一致

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: bad authentication secret.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため応答を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.17　RADIUS アカウンティング共有鍵不一致 (アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: bad accounting secret.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため応答を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.18　RADIUS アカウンティング共有鍵不一致 (アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: bad accounting secret.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため応答を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.19　ローカル認証 DB アカウンティング情報の表示

【メッセージ】

```
aaad: <id>(<session_id>) received service for
<session_time> seconds,received <input_packets>
packets(<input_bytes> bytes), sent
<output_packets>packets(<out_bytes> bytes).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ローカル認証 DB のアカウンティング情報を示します。

【パラメタの意味】

<id>　User_Name
アクセスユーザ名

<session_id>
Acct-Session-Id
同一セッションを示す一意の識別子

<session_time>
Acct-Session-Time
セッション開始から終了までの時間

<input_packets>
Acct-Input-Packets
RADIUS クライアントがアクセスユーザから受信したパケット数

<input_bytes>
Acct-Input-Octets
RADIUS クライアントがアクセスユーザから受信したデータ量

<output_packets>
Acct-Output-Packets
RADIUS クライアントからアクセスユーザに対して送信したパケット数

<output_bytes>
Acct-Output-Octets
RADIUS クライアントからアクセスユーザに対して送信したデータ量

1.29.20　Access-Challenge の受信

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: Access-Challenge not support (<id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントが本装置で未サポートの Access-Challenge を受信したため、アクセスユーザの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>　　アクセスユーザ名

1.29.21　Message-Authenticator 不適性

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: received Message-Authenticator have unmatched value (<id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RADIUS パケットの Message-Authenticator が一致しなかったため、受信パケットが改ざんされているものとして、破棄したことを意味します。

【パラメタの意味】

<id>　　アクセスユーザ名

1.29.22　アトリビュート作成失敗 (送信バッファオーバフロー)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: attribute <attr_type> create failed. send buffer over-
flow for aaa group <group_id> user id <id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS サーバからクライアントに送信するアクセスユーザのユーザ情報が大きすぎるため、送信パケットを破棄したことを意味します。RADIUS サーバは 4096 バイト以上の認証結果をクライアントに通知できないため、アクセスユーザのユーザ情報に多数の経路情報を定義した場合などに、上記理由により送信パケットが破棄されることがあります。

【パラメタの意味】

<attr_type>

オーバフローしたアトリビュートの属性値

VSA:で始まる値の時はベンダ固有アトリビュートでオーバフローしたこと意味します。

<group_id>

AAA グループ ID

<id> アクセスユーザ名

1.29.23 RADIUS 認証取り消し

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication re-
quest failed for <id> on aaa <group_id>: authentication canceled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、認証依頼元が認証要求を取り消したことを示します。

【パラメタの意味】

<id> アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.29.24 RADIUS 認証サーバダウン

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius authentication server <num-
ber> on aaa <group_id> dead.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS 認証サーバが alive 状態から dead 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>

AAA グループ ID

<number>

認証サーバ定義番号

1.29.25　RADIUS 認証サーバ復旧

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius authentication server <num-
ber> on aaa <group_id> alive.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS 認証サーバが dead 状態から alive 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>

AAA グループ ID

<number>

認証サーバ定義番号

1.29.26　RADIUS アカウンティングサーバダウン

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius accounting server <number> on aaa <group_id> dead.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS アカウンティングサーバが alive 状態から dead 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>

AAA グループ ID

<number>

アカウンティングサーバ定義番号

1.29.27　RADIUS アカウンティングサーバ復旧

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius accounting server <number> on aaa <group_id> alive.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS アカウンティングサーバが dead 状態から alive 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>

AAA グループ ID

<number>

アカウンティングサーバ定義番号

1.30　その他のメッセージ

1.30.1　システムリセット エラー

【メッセージ】

```
<name>: ERROR: system reset busy.
```

【プライオリティ】

LOG_ERROR

【意味】

リセット処理を実施しようとしたが、ファーム更新中、構成定義の保存中、他スレッドでリセット処理中などにより、リセット処理ができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　リセットを実施したプログラム

scheduled
スケジュールによる電話番号変更後のリセット

telexec　telnet からのコマンドによるリセット

sshexec　ssh からのコマンドによるリセット

1.30.2　動的定義反映実行

【メッセージ】

```
enabled: system configuration restarted
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的定義反映が実行されたことを示します。

1.30.3　重複メッセージの省略

【メッセージ】

```
same message repeated <num> times
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同じメッセージが繰り返されたので表示を省略したことを示します。

【パラメタの意味】

<num>　繰り返された回数

Si-R brin シリーズ　メッセージ集

P3NK-1962-01Z0

発行日　　2006年7月

発行責任　　富士通株式会社

• 本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。
• 本書は、改善のために予告なしに変更することがあります。
• 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、 弊社はその責を負いません。